

工事起工 概要書

			部 長	次 長	課 長	課長補佐	係 長	係 員	審 査	設 計 者
執行年度			平成 30 年度							
工事番号 工事名			第 30-05-233-E-001号 29市単特環第4号管渠工事 起工 設計書							
工事場所 又は履行場所			石岡市 下林							
施工方法			原契約年月日				年 月 日			
工期又は 履行期間			平成 年 月 日 から平成 年 月 日 まで 70 日間							
受注者										
費 目			起 工		第 1 回変更		増 減 (△)			
起 工 額									変更請負に付する工事価格 =変更積算工事価格×請負比率	
請負(委託) に付する額									請負比率: $\frac{\text{起工(前回変更)時の請負決定額}}{\text{起工(前回変更)時の積算額}}$	
工事(業務) 価 格									(小数第7位切り捨て6位止め)	
測量試験費 又は工事雑費									変更積算工事価格 - 円	
消費税相当額									請負比率 -	
請負(委託) 決 定 額									変更工事価格 - 円	
工 事 概 要										
内 容			規格 1	数量 1	単位 1	規格 2	数量 2	単位 2	規格 3	数量 3 単位 3
管路(開削)工事			L =	110.0	m	φ =	150	mm	土被り	m
管布設工 VU φ 150			L =	108.2	m					
組立 2 号人孔			N =	1.0	基					
小型塩ビ人孔			N =	1.0	基					
汚水柵及び取付管設置			N =	3.0	箇所					
付帯工(仮・本復旧)			1.0		式					
変更理由										

工事数量総括（内訳）表

第 30-05-233-E-001 号

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	数量	単位	金額	細別内訳
管路			1	式		
管きょ工(開削)			1	式		
管路土工			1	式		管路掘削 180.000 m3 管路砂埋戻 (管上30cm迄) 43.000 m3 管路碎石埋戻 (管上30cm以上) 110.000 m3 発生土処理 180.000 m3
管布設工			1	式		硬質塩化ビニル管 108.200 m
管基礎工			1	式		砂基礎 (W=0.9m) 108.100 m
管路土留工			1	式		建て込み簡易土留 110.000 m 簡易土留め材質料 1.000 式
マンホール工			1	式		
組立マンホール工			1	式		組立2号マンホール 1.000 箇所 組立1号マンホール 1.000 箇所
小型マンホール工			1	式		小型マンホール 1.000 箇所
取付管およびます工			1	式		
管路土工			1	式		管路掘削 12.000 m3 管路砂埋戻 (管上30cm迄) 2.000 m3 管路碎石埋戻 (管上30cm以上) 8.000 m3 発生土処理 12.000 m3
ます設置工			1	式		ます 3.000 箇所
取付管布設工			1	式		取付管 12.600 m
電線管工			1	式		
電線管土工			1	式		管路掘削 3.000 m3 管路埋戻 2.000 m3 発生土処理 3.000 m3
配管・配線工			1	式		地中配管 46.000 m

工事数量総括（内訳）表

第 30-05-233-E-001 号

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	数量	単位	金額	細別内訳
付帯工						
			1	式		
舗装撤去工（仮復旧時）						舗装版切断 241.000 m
			1	式		舗装版破碎 110.000 m2
						殻運搬処理 11.100 m3
舗装仮復旧工						市道As舗装 110.000 m2
			1	式		
舗装撤去工（本復旧時）						舗装版切断 4.000 m
			1	式		舗装版破碎 565.000 m2
						殻運搬処理 48.000 m3
舗装本復旧工						市道As舗装 565.000 m2
			1	式		
仮設工						
			1	式		
交通管理工						交通誘導警備員 32.000 人日
			1	式		
処分費						
			1	式		
廃材処分						処分費 1.000 式
			1	式		
直接工事費計						
			1	式		
共通仮設						
			1	式		
共通仮設費						
			1	式		
運搬費						仮設材運搬費 8.200 t
			1	式		
共通仮設費（率計上）						
			1	式		
共通仮設費計						
			1	式		
純工事費						
			1	式		
現場管理費						
			1	式		

工事数量総括（内訳）表

第 30-05-233-E-001 号

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	数量	単位	金額	細別内訳
工事原価				式		
			1			
一般管理費等				式		
			1			
契約保証費用				式		
			1			
工事価格				式		
			1			
消費税相当額				式		
			1			
請負工事費				式		
			1			

本工事費内訳書

第 30-05-233-E-001 号

実施 起工 設計書

工事区分 工種 種別 細別 規格	数量	単位	単価	金額	摘要
管路					
管きよ工(開削)					
管路土工					
管路掘削	180.000	m3			
機械掘削工(バックホ) バックホ規格(排対(1次)山積0.28m3(平0.2m3))	180.000	m3			第0001号代価表
管路砂埋戻 (管上30cm迄)	43.000	m3			
砂埋戻 (BH0.2)	43.000	m3			第0003号代価表
管路碎石埋戻 (管上30cm以上)	110.000	m3			
碎石埋戻RB-40 (BH0.2)	110.000	m3			第0006号代価表
発生土処理	180.000	m3			
発生土運搬工(BH0.2+4t積) 現場 ～仮置場 (L=0.5km以内) ダンプトラック規格(ダンプトラック 4t積級), 運搬距離 (実数入力) (0.5 km), DID区間(DID区間なし), バックホ規格(排対(1次)山積0.28m3(平0.2m3)), タイ損耗費(良好)	180.000	m3			第0007号代価表
積込(ルース) 土質(土砂), 作業内容(土量50,000m3未満)	180.000	m3			施工P 第0009号代価表
土砂等運搬 (小美玉SY、L=22.5km) 土砂等発生現場(標準), 積込機種・規格(バックホ山積0.8m3(平積0.6m3)), 土質(土砂(岩塊・玉石混り土含む)), DID区間の有無(無し), 運搬距離 (km) (DID区間無) (22.5km以下)	180.000	m3			施工P 第0010号代価表
管布設工					

本工事費内訳書

第 30-05-233-E-001 号

実施 起工 設計書

工事区分 工種 種別 細別 規格	数量	単位	単価	金額	摘要
硬質塩化ビニル管	108.200	m			
硬質塩化ビニル管設置工(市場単価) 規格・仕様(呼び径 150mm), 施工規模(20m 以上), 時間的制約を受ける場合の補正(無) , 夜間作業補正(無)	108.200	m			第0011号代価表
人孔用可とう継手 Φ150	3.000	個			
管基礎工					
砂基礎 (W=0.9m)	108.100	m			
砂基礎 (市場単価・機械施工)	10.000	m ³			第0012号代価表
管路土留工					
建て込み簡易土留	110.000	m			
建込工(たて込み簡易土留) 掘削深(掘削深2.0m以下)	50.000	m			第0014号代価表
建込工(たて込み簡易土留) 掘削深(掘削深2.5m以下)	60.000	m			第0015号代価表
引抜工(たて込み簡易土留) 掘削深(掘削深2.0m以下), クレーン賃料補正(標 準 (1.0))	50.000	m			第0016号代価表
引抜工(たて込み簡易土留) 掘削深(掘削深2.5m以下), クレーン賃料補正(標 準 (1.0))	60.000	m			第0017号代価表
簡易土留め材賃料	1.000	式			
簡易土留め材賃料 (H=2.0m)	36.000	m ²			第0018号代価表
簡易土留め材賃料 (H=2.5m)	45.000	m ²			第0019号代価表
マンホール工					

本工事費内訳書

第 30-05-233-E-001 号

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	細別	規格	数量	単位	単価	金額	摘要
組立マンホール工									
組立2号マンホール					1.000	箇所			
親子蓋 T-14					1.000	組			
転落防止はしご (φ600用) φ600					1.000	個			
無収縮モルタル					0.019	m ³			第0020号代価表
調整リング H=15cm、φ900					1.000	個			
斜壁 (2号用) H=450mm、φ900×φ1200					1.000	個			
直壁 (2号用) H=1200mm					1.000	個			
管取付壁 (躯体ブロック) 2号用 H=2100mm					1.000	個			
底版 (2号用) H=150mm					1.000	個			
削孔費 (2号用) Φ150以下					2.000	箇所			
底部工 (2号用, 砕石のみ)					1.000	箇所			第0021号代価表
組立マンホール設置工 (市場単価) 規格・仕様 (2号 (1200mm) 4m超～5m以下), 施工規模 (4箇所未満), 時間的制約を受ける場合の補正 (無), 夜間作業補正 (無)					1.000	箇所			第0022号代価表
建込工 (たて込み簡易土留) 掘削深 (掘削深4.5m以下)					3.000	m			第0023号代価表
引抜工 (たて込み簡易土留) 掘削深 (掘削深4.5m以下), クレーン賃料補正 (標準 (1.0))					3.000	m			第0025号代価表
簡易土留め材質料 (H=4.5m)					27.000	m ²			第0026号代価表

本工事費内訳書

第 30-05-233-E-001 号

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	細別	規格	数量	単位	単価	金額	摘要
				組立1号マンホール	1.000	箇所			
				削孔費 (0号・楕円・1号用) Φ150以下	1.000	箇所			
				小型マンホール工					
				小型マンホール	1.000	箇所			
				小型マンホール工(塩化ビニル製)(市場単価) 規格・仕様1(径300mm 起点中間形式),規格・仕様2(深2.0m以下 本管径150・200mm),施工規模(5箇所未満),時間的制約を受ける場合の補正(無),夜間作業補正(無),鋳鉄製防護蓋設置の有無(有)	1.000	箇所			第0027号代価表
				鋳鉄製防護蓋 (Φ300用, 台座付) T-14	1.000	組			
				仮止めキャップ Φ150用	1.000	個			
				取付管およびます工					
				管路土工					
				管路掘削	12.000	m3			
				機械掘削工(小型バックホウ) 小型バックホウ規格(排対(1次)山積0.13m3(平0.1m3))	9.000	m3			第0028号代価表
				床掘り (人力) 土質区分(土砂),施工方法(現場制約あり)	3.000	m3			施工P 第0030号代価表
				管路砂埋戻 (管上30cm迄)	2.000	m3			
				砂埋戻 (BH0.1)	2.000	m3			第0031号代価表
				管路碎石埋戻 (管上30cm以上)	8.000	m3			

本工事費内訳書

第 30-05-233-E-001 号

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	細別	規格	数量	単位	単価	金額	摘要
				砕石埋戻RB-40 (BH0.1)	6.000	m ³			第0033号代価表
				砕石埋戻RB-40 (人力)	2.000	m ³			第0034号代価表
				発生土処理	12.000	m ³			
				発生土運搬工(BH0.1+2t積) 現場 ～仮置場 (L=0.5km以内) ダンプトラック規格(ダンプトラック 2t積級), 運搬距離 (実数入力) (0.5 km), DID区間(DID区間なし), バックホウ規格(小型(1次)山積0.13m ³ (平0.1m ³)), タイヤ損耗費(良好)	12.000	m ³			第0036号代価表
				積込(ルース) 土質(土砂), 作業内容(土量50,000m ³ 未満)	12.000	m ³			施工P 第0009号代価表
				土砂等運搬 (小美玉SY、L=22.5km) 土砂等発生現場(標準), 積込機種・規格(バックホウ山積0.8m ³ (平積0.6m ³)), 土質(土砂(岩塊・玉石混り土含む)), DID区間の有無(無し), 運搬距離 (km) (DID区間無)(22.5km以下)	12.000	m ³			施工P 第0010号代価表
				ます設置工					
				ます	3.000	箇所			
				ます設置工(塩化ビニル製)(市場単価) 規格・仕様(ます径 200mm), 施工規模(5箇所未満), 時間的制約を受ける場合の補正(無), 夜間作業補正(無), 鋳鉄製防護蓋設置の有無(無)	2.000	箇所			第0038号代価表
				ます設置工 (2.0m以下)	1.000	箇所			第0039号代価表
				小口径污水枡 φ200×100×φ100(3方向, 標準形)	1.000	個			
				污水枡蓋 φ200 差口形	1.000	個			
				硬質塩化ビニル管 VUφ200	1.700	m			

本工事費内訳書

第 30-05-233-E-001 号

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	細別	規格	数量	単位	単価	金額	摘要
取付管布設工									
取付管					12.600	m			
取付管布設および支管取付工(市場単価) 規格・仕様(管径 100mm), 施工規模(5箇所未満), 時間的制約を受ける場合の補正(無), 夜間作業補正(無), 取付管長3m未満の場合の補正(無), 取付管長5m以上12m未満の補正(無), 本管材質コンクリート製・陶製の補正(無)					3.000	箇所			第0042号代価表
電線管工									
電線管土工									
管路掘削					3.000	m ³			
床掘り 土質区分(土砂), 施工方法(上記以外(小規模)), 費用の内訳(全ての費用)					3.000	m ³			施工P 第0043号代価表
管路埋戻					2.000	m ³			
碎石埋戻RB-40(小規模)					2.000	m ³			第0044号代価表
発生土処理					3.000	m ³			
土砂等運搬(現場～仮置場) 土砂等発生現場(小規模), 積込機種・規格(バックホウ山積0.28m ³ (平積0.2m ³)), 土質(土砂(岩塊・玉石混り土含む)), DID区間の有無(無し), 運搬距離(km)(DID区間無)(0.2km以下)					3.000	m ³			施工P 第0046号代価表
積込(ルーズ) 土質(土砂), 作業内容(土量50,000m ³ 未満)					3.000	m ³			施工P 第0009号代価表
土砂等運搬(小美玉SY、L=22.5km) 土砂等発生現場(標準), 積込機種・規格(バックホウ山積0.8m ³ (平積0.6m ³)), 土質(土砂(岩塊・玉石混り土含む)), DID区間の有無(無し), 運搬距離(km)(DID区間無)(22.5km以下)					3.000	m ³			施工P 第0010号代価表

本工事費内訳書

第 30-05-233-E-001 号

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	細別	規格	数量	単位	単価	金額	摘要
配管・配線工									
地中配管					46.000	m			
波付硬質合成樹脂管(FEP)敷設 作業種別(10m以上),作業内容による補正(新設),管規格(FEP 30mm),条数による補正(3条),付属品率計上(3%)					14.000	m			第0047号代価表
埋設標識シート敷設 作業種別(埋設標識シート敷設)					14.000	m			第0048号代価表
埋設シート W=150 2倍					14.000	m			
付帯工									
舗装撤去工(仮復旧時)									
舗装版切断					241.000	m			
Co舗装版切断 舗装版種別(コンクリート舗装版),コンクリート舗装版厚(15cm以下),費用の内訳(全ての費用)					237.000	m			施工P 第0049号代価表
As舗装版切断 舗装版種別(アスファルト舗装版),アスファルト舗装版厚(15cm以下),費用の内訳(全ての費用)					4.000	m			施工P 第0050号代価表
舗装版破碎					110.000	m ²			
Co舗装版破碎 舗装版種別(コンクリート舗装版),障害等の有無(無し),騒音振動対策(不要),舗装版厚(10cm以下),積込作業の有無(有り),費用の内訳(全ての費用)					108.000	m ²			施工P 第0051号代価表
As舗装版破碎 舗装版種別(アスファルト舗装版),障害等の有無(無し),騒音振動対策(不要),舗装版厚(10cm以下),積込作業の有無(有り),費用の内訳(全ての費用)					2.000	m ²			施工P 第0052号代価表
殻運搬処理					11.100	m ³			

本 工 事 費 内 訳 書

第 30-05-233-E-001 号

実施 起工 設計書

工事区分 工種 種別 細別 規格	数量	単位	単価	金額	摘要
Co殻運搬 (L=13.9km) 殻発生作業(舗装版破碎), 積込工法区分(機械(騒音対策不要、厚15cm以下)), DID区間の有無(無し), 運搬距離(km) (DID区間無)(22.0km以下), 費用の内訳(全ての費用)	11.000	m3			施工P 第0053号代価表
As殻運搬 (L=13.9km) 殻発生作業(舗装版破碎), 積込工法区分(機械(騒音対策不要、厚15cm以下)), DID区間の有無(無し), 運搬距離(km) (DID区間無)(22.0km以下), 費用の内訳(全ての費用)	0.100	m3			施工P 第0053号代価表
舗装仮復旧工					
市道As舗装	110.000	m2			
路盤 (RC-40、t=22cm) 平均厚さ(200mmを超え225mm以下), 材料(再生クワッチャン RC-40), 費用の内訳(全ての費用)	110.000	m2			施工P 第0054号代価表
表層 (再生粗粒度As、t=3cm) 平均幅員(1.4m未満(仕上厚50mm以下)), 1層当平均仕上厚 50mm以下(30 mm), 材料(再生粗粒度アスファルト混合物(20)), 瀝青材料種類(無し), 費用の内訳(全ての費用)	110.000	m2			施工P 第0055号代価表
舗装撤去工 (本復旧時)					
舗装版切断	4.000	m			
As舗装版切断 舗装版種別(アスファルト舗装版), アスファルト舗装版厚(15cm以下), 費用の内訳(全ての費用)	4.000	m			施工P 第0050号代価表
舗装版破碎	565.000	m2			
Co舗装版破碎 舗装版種別(コンクリート舗装版), 障害等の有無(無し), 騒音振動対策(不要), 舗装版厚(10cm以下), 積込作業の有無(有り), 費用の内訳(全ての費用)	454.000	m2			施工P 第0051号代価表

本 工 事 費 内 訳 書

第 30-05-233-E-001 号

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	細別	規格	数量	単位	単価	金額	摘要
					111.000	m2			施工P 第0052号代価表
				As舗装版破碎 舗装版種別(アスファルト舗装版), 障害等の有無(無し), 騒音振動対策(不要), 舗装版厚(10cm以下), 積込作業の有無(有り), 費用の内訳(全ての費用)					
					48.000	m3			
				殻運搬処理					
					45.000	m3			施工P 第0053号代価表
				Co殻運搬 (L=13.9km) 殻発生作業(舗装版破碎), 積込工法区分(機械(騒音対策不要、厚15cm以下)), DID区間の有無(無し), 運搬距離(km) (DID区間無)(22.0km以下), 費用の内訳(全ての費用)					
					3.000	m3			施工P 第0053号代価表
				As殻運搬 (L=13.9km) 殻発生作業(舗装版破碎), 積込工法区分(機械(騒音対策不要、厚15cm以下)), DID区間の有無(無し), 運搬距離(km) (DID区間無)(22.0km以下), 費用の内訳(全ての費用)					
				舗装本復旧工					
					565.000	m2			
				市道As舗装					
					454.000	m2			施工P 第0056号代価表
				不陸整正 (M-30、t=5cm) 補足材料の有無(有り), 補足材料平均厚さ(49mm以上55mm未満), 補足材料(粒度調整碎石 M-30), 費用の内訳(全ての費用)					
					1.000	m2			施工P 第0057号代価表
				不陸整正 (M-30、t=2cm) 補足材料の有無(有り), 補足材料平均厚さ(17mm以上21mm未満), 補足材料(粒度調整碎石 M-30), 費用の内訳(全ての費用)					
					565.000	m2			施工P 第0058号代価表
				表層 (再生密粒度As、t=5cm) 平均幅員(1.4m以上), 1層当平均仕上厚 70mm以下(50 mm), 材料(再生密粒度アスファルト混合物(20)), 瀝青材料種類(プライムコート PK-3), 費用の内訳(全ての費用)					
				仮設工					
				交通管理工					
					32.000	人日			
				交通誘導警備員					

本工事費内訳書

第 30-05-233-E-001 号

実施 起工 設計書

工事区分 工種 種別 細別 規格	数量	単位	単価	金額	摘要
交通誘導警備員B 作業区分(昼間勤務(交替要員無し))	32.000	人日			第0059号代価表
処分費					
廃材処分					
処分費	1.000	式			
ストックヤード利用料金 発生土搬入	190.000	m ³			
コンクリート廃材処理費(中間処理施設) コンクリート塊(無筋) 30cm以下	132.000	t			
アスファルト廃材処理費(中間処理施設) 掘削材 40cm以下	8.000	t			
直接工事費計					
共通仮設					
共通仮設費					
運搬費					
仮設材運搬費	8.200	t			
仮設材等の運搬(簡易土留め材) 土浦市~L=21.5km、往路 基本運賃(実数入力)(円/t)、運搬割増率(各種(実数入力)), 運搬割増率(実数入力)(0), その他の諸料金の有無(無)	8.200	t			第0060号代価表
仮設材等の運搬(簡易土留め材) 土浦市~L=21.5km、復路 基本運賃(実数入力)(円/t)、運搬割増率(各種(実数入力)), 運搬割増率(実数入力)(0), その他の諸料金の有無(無)	8.200	t			第0060号代価表
仮設材等の積込み取卸し費 作業区分(積込み、取卸し(往復分))	8.200	t			第0061号代価表

本工事費内訳書

第 30-05-233-E-001 号

実施 起工 設計書

工事区分 工種 種別 細別 規格	数量	単位	単価	金額	摘要
共通仮設費 (率計上)					
共通仮設費計					
純工事費					
現場管理費					
工事原価					
一般管理費等					
契約保証費用					
工事価格					
消費税相当額					
請負工事費					

第 0001 号 代価表 機械掘削工(バックホ)

第 30-05-233-E-001号

100.000 m3 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
世話役		人			
普通作業員		人			
バックホ[カーラ]排対(1次)山積0.28m3(平積0.2m3)		時間			第0002号 代価表 20180601
諸雑費 (まるめ)	1.000	式			
合計					
			単位当り		

	条件名称	入力値	入力名称
J 0 1	バックホ規格	1	排対(1次)山積0.28m3(平0.2m3)

第 0003 号 代価表 砂埋戻 (BH0.2)

第 30-05-233-E-001 号

1.000 m3 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
砂 埋め戻し用	1.330	m3			
機械投入埋戻工(バックホ) バックホ規格(排対(1次)山積0.28m3(平0.2m3)),タン バ締固め数量(m3)(実数)(100 m3)	1.000	m3			第0004号 代価表 20180601
諸雑費(まるめ)	1.000	式			
合計					
			単位当り		

条件名称

入力値

入力名称

第 0004 号 代価表 機械投入埋戻工(バックホ)

第 30-05-233-E-001号

100.000 m3 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
世話役		人			
普通作業員		人			
バックホ[クレー]排対(1次)山積0.28m3(平積0.2m3)		時間			第0002号 代価表 20180601
タンパ 締固め	100.000	m3			施工P 第0005号 代価表 20180601
諸雑費 (まるめ)	1.000	式			
合計					
			単位当り		

条件名称	入力値	入力名称
J 0 1 バックホ規格	1	排対(1次)山積0.28m3(平0.2m3)
J 0 2 タンパ締固め数量(m3) (実数)	100	100 m3

第 0005 号 代価表 タンパ締固め

施工P(機1.48%, 労97.36%, 材1.16%, 市0.00%)

第 30-05-233-E-001号

1.000 m3 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
タンパ及びランマ 質量 60~80kg	1.480	%			K1
特殊作業員	52.010	%			R1
普通作業員	45.350	%			R2
ガソリン レギュラー	1.160	%			Z1
			(標準単価 積算単価)	

条件名称	入力値	入力名称
J 0 1 費用の内訳	1	全ての費用

第 0007 号 代価表 発生土運搬工(4t積級・2t積級)機械積込み

第 30-05-233-E-001号

10.000 m3 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
ダンプトラック[オロト・テイエール]4t積級 機械損耗部品補正(良好)		日			第0008号 代価表 20180601
合計			単位当り		
条件名称		入力値		入力名称	
J 0 1 ダンプトラック規格		1		ダンプトラック 4t積級	
J 0 2 運搬距離 (実数入力)		0.5		0.5 km	
J 0 3 DID区間		1		DID区間なし	
J 0 4 バック杓規格		3		排対(1次)山積0.28m3(平0.2m3)	
J 0 5 タイヤ損耗費		2		良好	

第 0008 号 代価表 ダンプトラック[オンロード・ディーゼル]4t積級

第 30-05-233-E-001号

1.000 日 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
運転手 (一般)		人			
軽油 1. 2号	34.000	L			
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 4 t 積級		供用日			
タイヤ損耗費 4 t 積級 良好 供用日		供用日			
諸雑費 (まるめ)	1.000	式			
合計					
			単位当り		

J 0 1	条件名称 機械損耗部品補正	入力値 2	入力名称 良好
-------	------------------	----------	------------

第 0009 号 代価表 積込(ルース)

施工P(機46.70%, 労38.54%, 材14.76%, 市0.00%)

第 30-05-233-E-001号

1.000 m3 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
バックホウ(クローラ) [標準] 排ガス型(第2次) 山積0.8m ³	46.700	%			K1
運転手(特殊)	38.540	%			R1
軽油 1.2号	14.760	%			Z1
			(標準単価 積算単価)	

条件名称	入力値	入力名称
J01 土質	1	土砂
J02 作業内容	1	土量50,000m ³ 未満

第 0010 号 代価表 土砂等運搬

施工P(機49.71%, 労37.76%, 材12.53%, 市0.00%)

第 30-05-233-E-001号

1.000 m3 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 10t積級	49.710	%			K1
運転手 (一般)	37.760	%			R1
軽油 1.2号	12.530	%			Z1
			(標準単価 積算単価))

条件名称	入力値	入力名称
J01 土砂等発生現場	1	標準
J02 積込機種・規格	1	バックホウ山積0.8m3 (平積0.6m3)
J03 土質	1	土砂 (岩塊・玉石混り土含む)
J04 DID区間の有無	1	無し
J05 運搬距離 (km) (DID区間無)	14	22.5km以下

第 0011 号 代価表 硬質塩化ビニル管設置工(市場単価)

第 30-05-233-E-001 号

1.000 m 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
硬質塩化ビニル管設置工(材工共) 呼び径150mm	1.000	m			
合計					
			単位当り		
条件名称		入力値		入力名称	
J 0 1 規格・仕様		1		呼び径 150mm	
J 0 2 施工規模		1		20m以上	
J 0 3 時間的制約を受ける場合の補正		2		無	
J 0 4 夜間作業補正		2		無	

第 0013 号 代価表 砂基礎設置工(機械施工)(市場単価)

第 30-05-233-E-001号

1.000 m3 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
砂基礎工(手間のみ) 砂基礎設置 機械施工	1.000	m3			
合計					
			単位当り		
条件名称		入力値		入力名称	
J 0 1 施工規模		1		10m3以上	
J 0 2 時間的制約を受ける場合の補正		2		無	
J 0 3 夜間作業補正		2		無	

第 0014 号 代価表 建込工(たて込み簡易土留)

第 30-05-233-E-001号

10.000 m 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
バックホウ[クローラ]排対(1次)山積0.28m3(平積0.2m3)		時間			第0002号 代価表 20180601
諸雑費 (まるめ)	1.000	式			
合計					
			単位当り		

J 0 1	条件名称 掘削深	入力値 2	入力名称 掘削深2.0m以下
-------	-------------	----------	-------------------

第 0015 号 代価表 建込工(たて込み簡易土留)

第 30-05-233-E-001号

10.000 m 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
バックホウ[クローラ]排対(1次)山積0.28m ³ (平積0.2m ³)		時間			第0002号 代価表 20180601
合計					
			単位当り		
J 0 1	条件名称 掘削深	入力値 3	入力名称 掘削深2.5m以下		

第 0016 号 代価表 引抜工(たて込み簡易土留)

第 30-05-233-E-001号

10.000 m 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
トラッククレーン [油圧伸縮ジブ型] 4.9t吊		日			
合計					
			単位当り		

	条件名称	入力値	入力名称
J01	掘削深	2	掘削深2.0m以下
J02	クレーン賃料補正	1	標準 (1.0)

第 0017 号 代価表 引抜工(たて込み簡易土留)

第 30-05-233-E-001号

10.000 m 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
トラッククレーン [油圧伸縮ジブ型] 4.9t吊		日			
諸雑費 (まるめ)	1.000	式			
合計					
			単位当り		

	条件名称	入力値	入力名称
J 0 1	掘削深	3	掘削深2.5m以下
J 0 2	クレーン賃料補正	1	標準 (1.0)

第 0018 号 代価表 簡易土留め材賃料 (H=2.0m)

第 30-05-233-E-001号

1.000 m² 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
簡易土留め材賃料 H=2.0m		日			
合計					
			単位当り		
条件名称	入力値	入力名称			

第 0019 号 代価表 簡易土留め材賃料 (H=2.5m)

第 30-05-233-E-001号

1.000 m² 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
簡易土留め材賃料 H=2.5m		日			
簡易土留め材整備費 H=3.5m以下	1.000	m ²			
合計					
			単位当り		

条件名称

入力値

入力名称

第 0020 号 代価表 無収縮モルタル

第 30-05-233-E-001号

1.000 m³ 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
無収縮剤 セメント系 プレミックスタイプ	1,875.000	k g			
合計					
			単位当り		

条件名称	入力値	入力名称

第 0021 号 代価表 底部工 (2号用, 碎石のみ)

第 30-05-233-E-001号

1.000 箇所 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
再生碎石RC-40 (土浦土木管内) 運搬距離40km以内	0.400	m ³			
諸雑費 (まるめ)	1.000	式			
合計					
			単位当り		

条件名称

入力値

入力名称

第 0022 号 代価表 組立マンホール設置工(市場単価)

第 30-05-233-E-001 号

1.000 箇所 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
組立マンホール設置工 2号(1200mm) 4m超～5m以下	1.000	箇所			
諸雑費 (まるめ)	1.000	式			
合計					
			単位当り		

条件名称	入力値	入力名称
J 0 1 規格・仕様	8	2号(1200mm) 4m超～5m以下
J 0 2 施工規模	2	4箇所未満
J 0 3 時間的制約を受ける場合の補正	2	無
J 0 4 夜間作業補正	2	無

第 0023 号 代価表 建込工(たて込み簡易土留)

第 30-05-233-E-001号

10.000 m 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
バックホウ クレーン付2.9t(2次)山積0.8m ³ 平積0.6m ³		時間			第0024号 代価表 20180601
合計					
			単位当り		
J 0 1	条件名称 掘削深	入力値 7	入力名称 掘削深4.5m以下		

第 0025 号 代価表 引抜き工(たて込み簡易土留)

第 30-05-233-E-001号

10.000 m 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型] 16 t 吊		日			
諸雑費 (まるめ)	1.000	式			
合計					
			単位当り		

	条件名称	入力値	入力名称
J 0 1	掘削深	7	掘削深4.5m以下
J 0 2	クレーン賃料補正	1	標準 (1.0)

第 0027 号 代価表 小型マンホール工(塩化ビニル製)(市場単価)

第 30-05-233-E-001号

1.000 箇所 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
小型マンホール工(塩化ビニル製)径300 深さ2m以下 本管150, 200mm	1.000	箇所			
小型マンホール工(塩化ビニル製) 加算額 鋳鉄製防護蓋設置費(手間のみ)	1.000	箇所			
合計					
			単位当り		

条件名称	入力値	入力名称
J 0 1 規格・仕様1	1	径300mm 起点中間形式
J 0 2 規格・仕様2	1	深2.0m以下 本管径150・200mm
J 0 3 施工規模	2	5箇所未満
J 0 4 時間的制約を受ける場合の補正	2	無
J 0 5 夜間作業補正	2	無
J 0 6 鋳鉄製防護蓋設置の有無	1	有

第 0028 号 代価表 機械掘削工(小型バックホ)

第 30-05-233-E-001 号

100.000 m3 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
世話役		人			
普通作業員		人			
小型バックホ運転[カラー型](1次)山積0.13m3(平積0.1m3)		日			第0029号 代価表 20180601
諸雑費(まるめ)	1.000	式			
合計					
			単位当り		

	条件名称	入力値	入力名称
J 0 1	小型バックホ規格	2	排対(1次)山積0.13m3(平0.1m3)

第 0030 号 代価表 床掘り

施工P(機0.00%, 労100.00%, 材0.00%, 市0.00%)

第 30-05-233-E-001号

1.000 m3 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
普通作業員	100.000	%			R1
			(標準単価 積算単価))

条件名称	入力値	入力名称
J 0 1 土質区分	1	土砂
J 0 2 施工方法	6	現場制約あり

第 0031 号 代価表 砂埋戻 (BH0.1)

第 30-05-233-E-001 号

1.000 m³ 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
砂 埋め戻し用	1.330	m ³			
機械投入埋戻工(小型バックホ) 小型バックホ規格(排対(1次)山積0.13m ³ (平0.1m ³)), タンバ締固め数量(m ³) (実数) (100 m ³)	1.000	m ³			第0032号 代価表 20180601
諸雑費 (まるめ)	1.000	式			
合計					
			単位当り		

条件名称

入力値

入力名称

第 0032 号 代価表 機械投入埋戻工(小型バックホ)

第 30-05-233-E-001号

100.000 m3 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
世話役		人			
普通作業員		人			
小型バックホ運転[カラー型](1次)山積0.13m3(平積0.1m3)		日			第0029号 代価表 20180601
タンパ 締固め	100.000	m3			施工P 第0005号 代価表 20180601
諸雑費 (まるめ)	1.000	式			
合計					
			単位当り		

条件名称	入力値	入力名称
J 0 1 小型バックホ規格	2	排対(1次)山積0.13m3(平0.1m3)
J 0 2 タンパ締固め数量(m3) (実数)	100	100 m3

第 0035 号 代価表 埋戻し

施工P(機0.32%, 労99.43%, 材0.25%, 市0.00%)

第 30-05-233-E-001号

1.000 m3 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
タンパ及びランマ 質量 60~80kg	0.320	%			K1
普通作業員	88.200	%			R1
特殊作業員	11.230	%			R2
ガソリン レギュラー	0.250	%			Z1
			(標準単価 積算単価)	

条件名称	入力値	入力名称
J 0 1 施工方法	6	現場制約あり
J 0 2 土質区分	1	土砂
J 0 3 締固めの有無	1	有り

第 0036 号 代価表 発生土運搬工(4t積級・2t積級)機械積込み

第 30-05-233-E-001号

10.000 m3 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
ダンプトラック[オロード・ティール]2t積級 機械損耗部品補正(良好)		日			第0037号 代価表 20180601
合計			単位当り		

条件名称	入力値	入力名称
J 0 1 ダンプトラック規格	2	ダンプトラック 2t積級
J 0 2 運搬距離 (実数入力)	0.5	0.5 km
J 0 3 DID区間	1	DID区間なし
J 0 4 バック杓規格	4	小型(1次)山積0.13m3(平0.1m3)
J 0 5 タイヤ損耗費	2	良好

第 0037 号 代価表 ダンプトラック[オンロード・ディーゼル]2t積級

第 30-05-233-E-001号

1.000 日 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
運転手 (一般)		人			
軽油 1. 2号	22.000	L			
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 2 t 積級		供用日			
タイヤ損耗費 2~3 t 積級 良好 供用日		供用日			
諸雑費 (まるめ)	1.000	式			
合計					
			単位当り		

J 0 1	条件名称 機械損耗部品補正	入力値 2	入力名称 良好
-------	------------------	----------	------------

第 0038 号 代価表 ます設置工(塩化ビニル製)(市場単価)

第 30-05-233-E-001号

1.000 箇所 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
塩化ビニル製ます設置工(材工共) ます(径200)	1.000	箇所			
合計					
			単位当り		
条件名称		入力値		入力名称	
J 0 1 規格・仕様		2		ます径 200mm	
J 0 2 施工規模		2		5箇所未満	
J 0 3 時間的制約を受ける場合の補正		2		無	
J 0 4 夜間作業補正		2		無	
J 0 5 鋳鉄製防護蓋設置の有無		2		無	

第 0039 号 代価表 ます設置工 (2.0m以下)

第 30-05-233-E-001号

1.000 箇所 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
ます設置	1.000	箇所			第0040号 代価表 20180601
ます砂基礎 (人力)	1.000	箇所			第0041号 代価表 20180601
諸雑費 (まるめ)	1.000	式			
合計					
			単位当り		

条件名称

入力値

入力名称

第 0040 号 代価表 ます設置

第 30-05-233-E-001号

1.000

箇所 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
諸雑費 (率+まるめ)	1.000	式			
合計					
			単位当り		

条件名称

入力値

入力名称

第 0041 号 代価表 ます砂基礎 (人力)

第 30-05-233-E-001号

1.000

箇所 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
砂 埋め戻し用	0.040	m ³			
諸雑費 (まるめ)	1.000	式			
合計					
			単位当り		

条件名称

入力値

入力名称

第 0042 号 代価表 取付管布設および支管取付工(市場単価)

第 30-05-233-E-001号

1.000 箇所 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
取付管布設及び支管取付工(材工共) 管径100	1.000	箇所			
合計					
			単位当り		
条件名称		入力値		入力名称	
J 0 1 規格・仕様		1		管径 100mm	
J 0 2 施工規模		2		5箇所未満	
J 0 3 時間的制約を受ける場合の補正		2		無	
J 0 4 夜間作業補正		2		無	
J 0 5 取付管長3m未満の場合の補正		2		無	
J 0 6 取付管長5m以上12m未満の補正		2		無	
J 0 7 本管材質コンクリート製・陶製の補正		2		無	

第 0043 号 代価表 床掘り

施工P(機23.90%, 労70.06%, 材6.04%, 市0.00%)

第 30-05-233-E-001号

1.000 m3 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
バックホウ(クローラ) [後方超小旋回型] 排ガス型(第2次) 山積0.28m3	23.900	%			K1
運転手(特殊)	37.860	%			R1
普通作業員	32.200	%			R2
軽油 1.2号	6.040	%			Z1
			(標準単価 積算単価))

条件名称	入力値	入力名称
J01 土質区分	1	土砂
J02 施工方法	5	上記以外(小規模)
J05 費用の内訳	1	全ての費用

第 0044 号 代価表 砕石埋戻RB-40 (小規模)

第 30-05-233-E-001号

1.000 m3 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
再生クラッシャーラン RB-40	1.330	m3			
埋戻し 施工方法(上記以外(小規模)),土質区分(土砂),費用の内訳(全ての費用)	1.000	m3			施工P 第0045号 代価表 20180601
諸雑費(まるめ)	1.000	式			
合計					
			単位当り		

条件名称

入力値

入力名称

第 0045 号 代価表 埋戻し

施工P(機11.53%, 労85.22%, 材3.25%, 市0.00%)

第 30-05-233-E-001号

1.000 m3 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
バックホウ(クローラ) [後方超小旋回型] 排ガス型(第2次) 山積0.28m ³	10.820	%			K1
タンパ及びランマ 質量 60~80kg	0.710	%			K2
普通作業員	48.700	%			R1
特殊作業員	19.390	%			R2
運転手(特殊)	17.130	%			R3
軽油 1.2号	2.730	%			Z1
ガソリン レギュラー	0.520	%			Z2
			(標準単価 積算単価)	

	条件名称	入力値	入力名称
J01	施工方法	5	上記以外(小規模)
J02	土質区分	1	土砂
J04	費用の内訳	1	全ての費用

第 0046 号 代価表 土砂等運搬

施工P(機27.43%, 労62.37%, 材10.20%, 市0.00%)

第 30-05-233-E-001号

1.000 m3 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 4 t 積級	27.430	%			K1
運転手 (一般)	62.370	%			R1
軽油 1. 2号	10.200	%			Z1
			(標準単価 積算単価))

条件名称	入力値	入力名称
J 0 1 土砂等発生現場	2	小規模
J 0 2 積込機種・規格	5	バックホウ山積0.28m3 (平積0.2m3)
J 0 3 土質	1	土砂 (岩塊・玉石混り土含む)
J 0 4 DID区間の有無	1	無し
J 1 3 運搬距離 (km) (DID区間無)	1	0.2km以下

第 0047 号 代価表 波付硬質合成樹脂管 (FEP) 敷設

第 30-05-233-E-001 号

100.000 m 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
電工		人			
波付硬質ポリエチレン電線管 FEP 30mm	300.000	m			
附属品費	1.000	式			
諸雑費 (まるめ)	1.000	式			
合計					
			単位当り		

	条件名称	入力値	入力名称
J 0 1	作業種別	2	10m以上
J 0 2	作業内容による補正	1	新設
J 0 3	管規格	1	FEP 30mm
J 0 4	条数による補正	3	3 条
J 0 5	付属品率計上	3	3 %

第 0048 号 代価表 埋設標識シート敷設

第 30-05-233-E-001 号

100.000 m 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
電工		人			
合計					
			単位当り		
J 0 1	条件名称 作業種別	入力値 1	入力名称 埋設標識シート敷設		

第 0049 号 代価表 舗装版切断

施工P(機5.44%, 労42.46%, 材52.10%, 市0.00%)

第 30-05-233-E-001号

1.000 m 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
コンクリートカッタ [バキューム式・湿式] 切削深20cm級	3.490	%			K1
特殊作業員	14.540	%			R1
普通作業員	12.680	%			R2
コンクリートカッタ (ブレード) 径22インチ	49.970	%			Z1
ガソリン レギュラー	1.370	%			Z2
			(標準単価 積算単価))

条件名称	入力値	入力名称
J01 舗装版種別	2	コンクリート舗装版
J03 コンクリート舗装版厚	1	15cm以下
J05 費用の内訳	1	全ての費用

第 0050 号 代価表 舗装版切断

施工P(機7.02%, 労54.79%, 材38.19%, 市0.00%)

第 30-05-233-E-001号

1.000 m 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
コンクリートカッタ [バキューム式・湿式] 切削深20cm級	4.500	%			K1
特殊作業員	18.790	%			R1
普通作業員	16.350	%			R2
コンクリートカッタ (ブレード) 径22インチ	35.440	%			Z1
ガソリン レギュラー	1.760	%			Z2
			(標準単価 積算単価)

条件名称	入力値	入力名称
J01 舗装版種別	1	アスファルト舗装版
J02 アスファルト舗装版厚	1	15cm以下
J05 費用の内訳	1	全ての費用

第 0051 号 代価表 舗装版破碎

施工P(機8.85%, 労85.77%, 材5.38%, 市0.00%)

第 30-05-233-E-001号

1.000 m2 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
バックホウ (クローラ) [標準] 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	8.850	%			K1
普通作業員	40.110	%			R1
世話役	23.180	%			R2
運転手 (特殊)	22.480	%			R3
軽油 1.2号	5.380	%			Z1
			(標準単価 積算単価)

条件名称	入力値	入力名称
J01 舗装版種別	2	コンクリート舗装版
J02 障害等の有無	1	無し
J03 騒音振動対策	1	不要
J04 舗装版厚	3	10cm以下
J06 積込作業の有無	1	有り
J07 費用の内訳	1	全ての費用

第 0052 号 代価表 舗装版破碎

施工P(機8.85%, 労85.77%, 材5.38%, 市0.00%)

第 30-05-233-E-001号

1.000 m2 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
バックホウ (クローラ) [標準] 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	8.850	%			K1
普通作業員	40.110	%			R1
世話役	23.180	%			R2
運転手 (特殊)	22.480	%			R3
軽油 1.2号	5.380	%			Z1
			(標準単価 積算単価)

条件名称	入力値	入力名称
J01 舗装版種別	1	アスファルト舗装版
J02 障害等の有無	1	無し
J03 騒音振動対策	1	不要
J04 舗装版厚	3	10cm以下
J06 積込作業の有無	1	有り
J07 費用の内訳	1	全ての費用

第 0053 号 代価表 殻運搬

施工P(機49.71%, 労37.76%, 材12.53%, 市0.00%)

第 30-05-233-E-001号

1.000 m3 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 10t積級	49.710	%			K1
運転手 (一般)	37.760	%			R1
軽油 1.2号	12.530	%			Z1
			(標準単価 積算単価))

条件名称	入力値	入力名称
J 0 1 殻発生作業	2	舗装版破碎
J 0 2 積込工法区分	4	機械 (騒音対策不要、厚15cm以下)
J 0 3 DID区間の有無	1	無し
J 1 0 運搬距離 (km) (DID区間無)	6	22.0km以下
J 1 6 費用の内訳	1	全ての費用

第 0054 号 代価表 下層路盤(歩道部)

施工P(機6.39%, 労68.22%, 材25.39%, 市0.00%)

第 30-05-233-E-001号

1.000 m2 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
小型バックホウ(クローラ) [標準] 山積0.11m ³ (平積0.08m ³)	3.310	%			K1
振動ローラ(舗装用) [搭乗・コンバインド式] 運転質量3~4t	2.900	%			K2
普通作業員	28.710	%			R1
運転手(特殊)	24.070	%			R2
特殊作業員	13.460	%			R3
再生クラッシャーラン RC-40	23.820	%			Z1
軽油 1.2号	1.530	%			Z2
			(標準単価 積算単価)

条件名称	入力値	入力名称
J01 平均厚さ	5	200mmを超え225mm以下
J02 材料	6	再生クラッシャー RC-40
J03 費用の内訳	1	全ての費用

第 0055 号 代価表 表層(歩道部)

施工P(機0.52%, 労46.48%, 材53.00%, 市0.00%)

第 30-05-233-E-001号

1.000 m2 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式] 運転質量0.5~0.6t	0.390	%			K1
振動コンパクタ [前進型] 機械質量40~60kg	0.100	%			K2
特殊作業員	20.440	%			R1
普通作業員	17.830	%			R2
世話役	5.170	%			R3
再生アスファルト混合物 再生粗粒度AS混合物(20)	52.900	%			Z1
ガソリン レギュラー	0.060	%			Z2
軽油 1.2号	0.040	%			Z3
			(標準単価 積算単価)	

条件名称	入力値	入力名称
J01 平均幅員	1	1.4m未満(仕上厚50mm以下)
J02 1層当平均仕上厚 50mm以下	30	30 mm
J05 材料	12	再生粗粒度アスファルト混合物(20)
J06 瀝青材料種類	5	無し
J07 費用の内訳	1	全ての費用

第 0056 号 代価表 不陸整正

施工P(機19.01%, 労36.02%, 材44.97%, 市0.00%)

第 30-05-233-E-001号

1.000 m2 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
モータグレーダ [土工用・排ガス対策型 (第1次)] ブレード幅 3.1m	7.580	%			K1
ロードローラ [マカダム・排ガス対策型 (第1次)] 運転質量 10~12t 締固め幅 2.1m	5.920	%			K2
タイヤローラ [普通型・排出ガス対策型 (第1次)] 運転質量 8~20t	5.510	%			K3
運転手 (特殊)	21.730	%			R1
普通作業員	14.290	%			R2
粒度調整碎石 M-30	41.560	%			Z1
軽油 1.2号	3.410	%			Z2
			(標準単価 積算単価)

条件名称	入力値	入力名称
J01 補足材料の有無	2	有り
J02 補足材料平均厚さ	13	49mm以上55mm未満
J03 補足材料	11	粒度調整碎石 M-30
J04 費用の内訳	1	全ての費用

第 0057 号 代価表 不陸整正

施工P(機25.82%, 労48.94%, 材25.24%, 市0.00%)

第 30-05-233-E-001号

1.000 m2 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
モータグレーダ [土工用・排ガス対策型 (第1次)] ブレード幅 3.1m	10.290	%			K1
ロードローラ [マカダム・排ガス対策型 (第1次)] 運転質量 10~12t 締固め幅 2.1m	8.040	%			K2
タイヤローラ [普通型・排出ガス対策型 (第1次)] 運転質量 8~20t	7.490	%			K3
運転手 (特殊)	29.540	%			R1
普通作業員	19.400	%			R2
粒度調整碎石 M-30	20.610	%			Z1
軽油 1.2号	4.630	%			Z2
			(標準単価 積算単価)

条件名称	入力値	入力名称
J01 補足材料の有無	2	有り
J02 補足材料平均厚さ	6	17mm以上21mm未満
J03 補足材料	11	粒度調整碎石 M-30
J04 費用の内訳	1	全ての費用

第 0058 号 代価表 表層(車道・路肩部)

施工P(機3.40%, 労8.46%, 材88.14%, 市0.00%)

第 30-05-233-E-001号

1.000 m2 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
ASフィニッシャ [ホイール型] 排出ガス対策型 (第2次) 舗装幅2.4~6.0m	1.840	%			K1
タイヤローラ [普通型・排出ガス対策型 (第1次)] 運転質量8~20t	0.510	%			K2
ロードローラ [マカダム・排ガス対策型 (第1次)] 運転質量10~12t 締固め幅2.1m	0.510	%			K3
普通作業員	3.070	%			R1
特殊作業員	1.750	%			R2
運転手 (特殊)	1.710	%			R3
世話役	0.580	%			R4
再生アスファルト混合物 再生密粒度AS混合物 (20)	80.970	%			Z1
アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	6.830	%			Z2
軽油 1.2号	0.290	%			Z3
			(標準単価 積算単価)	
条件名称	入力値	入力名称			
J01 平均幅員	3	1.4m以上			
J04 1層当平均仕上厚 70mm以下	50	50 mm			
J05 材料	10	再生密粒度アスファルト混合物 (20)			
J06 瀝青材料種類	2	プライムコート PK-3			
J07 費用の内訳	1	全ての費用			

第 0059 号 代価表 交通誘導警備員B

第 30-05-233-E-001号

1.000 人日 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
交通誘導警備員B	1.000	人			
合計					
			単位当り		
J 0 1	条件名称 作業区分	入力値 1	入力名称 昼間勤務（交替要員無し）		

第 0060 号 代価表 仮設材等の運搬(鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等)

第 30-05-233-E-001号

1.000 t 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
仮設材の運賃料金 鋼材の運送に関わる運賃料金	1.000	t			
合計					
			単位当り		
条件名称		入力値		入力名称	
J 0 1 基本運賃 (実数入力)				円/t	
J 0 2 運搬割増率		4		各種 (実数入力)	
J 0 3 運搬割増率 (実数入力)		0		0	
J 0 4 その他の諸料金の有無		2		無	

第 0061 号 代価表 仮設材等の積込み取卸し費

第 30-05-233-E-001号

1.000 t 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
積込み. 取卸し費 (仮設材等)	2.000	t			
合計					
			単位当り		
J 0 1 条件名称 作業区分		入力値 4	入力名称 積込み、取卸し (往復分)		

特記仕様書

第1章 総則

本工事の施工にあたっては、「契約約款」「茨城県土木部・企業局土木工事共通仕様書」「茨城県土木工事施工管理基準」「茨城県土木工事出来高及び品質の規格値」「写真管理基準（案）」並びに本仕様書に基づき施工するものとする。

第2章 工事数量

当該工事における工事数量は、別紙「工事数量総括（内訳）表」のとおりとする。

第3章 現場条件

1. 作業時間帯

本工事の作業時間帯は、下記に示すとおりとする。なお、関係機関との調整の結果、作業時間帯に変更が生じた場合は、速やかに監督員と協議するものとする。

作業開始 午前9時00分

作業終了 午後5時00分

2. 安全管理

(1) 茨城県公安委員会告示第3号（平成19年2月22日付け）で指定された路上で交通規制を行う場合は有資格者（交通誘導員A）を適宜配置すること。また、その他の路線についても警備員（交通誘導員B）を適宜配置し一般交通等に支障を及ぼさないように十分に注意し施工するものとする。

また、受注者は工事の着工前に警備員の資格証明の写しを監督員に提出するものとする。

(2) 工事中の安全施設は、地域住民の安全を守り、トラブルを防ぐために十分な施設を設置するとともに、その管理徹底を図り地域住民の安全な通行を図り事故防止に努めなければならない。また、休日及び工事休止期間においては定期的にパトロール等を実施するものとする。

3. 使用機械

本工事の施工にあたっては、設計書に記載されている機械を使用するものとし記載されていない機械については使用しないこと。ただし、現場条件等により使用が困難な場合は監督員と協議するものとする。

また、設計書に明記してある排出ガス対策型の機械を使用する場合は、使用する建設機械の写真撮影を行い、監督員に提出するものとする。

なお、調達が困難な場合は、その旨の理由書を監督員に提出し承認を受けること。

4. 地下埋設構造物

(1) 工事箇所が存在する地下埋設物については、事前調査を行い位置・構造・種別において熟知し、場合によっては試験掘りを行い作業員に至るまで埋設物の全容・取扱い・処置方法について周知徹底を図り事故防止に努めなければならない。

(2) 地下埋設構造物が存在することが判明したとき、又は発見したときは、監督員に報告しその指示を受けなければならない。また地下埋設構造物管理者と綿密な連絡をとり十分に協調を保つとともに、工事前及び必要に応じ工事の各段階において施工方法、防護方法等について協議し施工しなければならない。

(3) 埋設物に近接して実施する作業においては、埋設物に衝撃を与える作業機械を使用しない等、埋設物を損傷しないよう留意しなければならない。

5. 廃棄物の処理及び再資源化

(1) 本工事の施工に伴って発生する廃棄物の処理については「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づいて処理するものとし、指定処分については監督員の指示に基づくものとする。

(2) 本工事は、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（平成12年法律第104号。以下「建設リサイクル法」という。）に基づき、分別解体等及び再資源化の実施について適正な措置を講ずることとする。

(3) 受注者は、分別解体・再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第 18 条第 1 項に基づき、以下の事項を書面に記載し、様式 1（平成 14 年 5 月 29 日付け事務連絡「公共建設工事における建設リサイクル法に関する事務手続きの当面の運用について（通知）」の様式 1）により監督員に報告すること。

- I. 再資源化が完了した日
- II. 再資源化等をした施設の名称及び所在地
- III. 再資源化等に要した費用

6. 付近の建物等への影響

受注者は工事着手前に近接建物及び構造物の写真撮影を行い工事による影響か否か判断できるようにし、工事による影響があると予想される時及び影響の出た時は、受注者の負担において必要書類を作成し監督員に提出しなければならない。またその処理、対策については監督員と協議しなければならない。

7. 過積載の防止

本工事の施工にあたっては、次の事項を遵守するものとする。

- (1) 積載重量制限を超過して工事用資材等を積み込まず、また積み込ませないこと。
- (2) 過積載を行っている資材納入業者から、資材を購入しないこと。
- (3) 資材等の過積載を防止するため、建設発生土の処理及び骨材の購入等にあたっては、下請事業者及び骨材等納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。
- (4) さし枠装着車、物品積載装置の不正改造をしたダンプカー及び不正表示車等に土砂等を積み込まず、また積み込ませないこと、並びに工事現場に出入りすることのないようにすること。
- (5) 過積載車両、さし枠装着車、不表示車等から土砂等の引き渡しを受ける等、過積載を助長することのないようにすること。
- (6) 取引関係のあるダンプカー事業者が過積載を行い、又はさし枠装着車、又は不表示車等を土砂運搬に使用している場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。
- (7) 「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」（以下「法」という。）の目的に鑑み、法第 12 条に規定する団体等の設立状況を踏まえ、同団体等への加入者の使用を促進すること。
- (8) 下請契約の相手方又は資材納入業者を選定するにあたっては、交通安全に関する配慮に欠ける者、又は業務に関しダンプトラック等によって悪質かつ重大な事故を発生させた者を排除すること。

8. 不正軽油の使用防止

本工事の施工にあたっては、次の事項を遵守するものとする。

- (1) 現場で不正軽油を使用しないこと。
- (2) 現場で不正軽油を使用させないこと。
- (3) 不正軽油を購入しないこと。
- (4) 取引関係にある運送事業者等が不正軽油を使用している場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。
- (5) 下請契約の相手方又は燃料納入業者を選定するにあたっては、不正軽油を使用する者又は不正軽油を販売する者を排除すること。
- (6) 現場で県税事務所職員が行う使用燃料の抜き取り調査に協力するとともに、調査の際は現場代理人が立ち会うこと。
- (7) 当該工事に関して、法令（地方税法等）に違反していることが判明した場合は、直ちに監督員に報告すること。

9. 工事カルテ登録の対象工事

本工事は、工事カルテの登録対象工事であるので、「茨城県土木部・企業局土木工事共通仕様書第 1 編第 1 章 1-1-5 コリンス（CORINS）への登録」に則り、工事カルテの工事実績情報サービス（CORINS）への登録及び工事カルテ受領書写しの監督員への提出等を行わなければならない。

第4章 工事用地等

1. 工事用地等の使用及び返還

- (1) 工事を行うために必要な用地等については、施工に先立ち、用地境界、使用条件等の確認を行わなければならない。また、使用に際し必要な関係機関への申請・協議等は施工者の責任において遺漏無く行うものとする。
- (2) 工事期間中の資材置き場及び残土の仮置場等は、十分な安全施設を設置するとともに、その管理徹底を図り事故防止に努めなければならない。休日及び工事休止期間においては定期的にパトロール等を実施し安全の確保に努めること。
- (3) 工事用地等の返還に当たっては、使用条件に基づき必要な処置を講じた後、発注者に通知し、所有者の立会いを行ってから返還しなければならない。

第5章 工事用電力

1. 工事期間中に使用する電力設備及び電力料金は受注者の負担とする。

第6章 工事材料

1. 材料

- (1) 工事に使用する材料については、「茨城県土木部・企業局土木工事共通仕様書」に定める条件を満たすものとし、使用前に材料使用届を監督員に提出し承諾を得なければならない。

2. 現場発生品

- (1) 現場発生品のうち路盤材は、管路埋戻しに再利用することとし、使用規模及び使用の可否について事前に監督員と協議し承認を得なければならない。
- (2) 発生土については、下記に示す土質試験を行い規定値以上のものについては、埋戻し土として使用するものとする。

コーン貫入試験 コーン指数 400kN/m² 以上

CBR 試験 67回3層のCBR 3.0%以上

- (3) 埋戻し土として使用不可と認められる発生土及び残土は、下記の場所に搬入すること。

搬入場所

茨城県小美玉市倉敷地内

小美玉ストックヤード《(一財)茨城県建設技術管理センター》

I 工事着手前に、(一財)茨城県建設技術管理センター建設副産物リサイクル事業部(以下『管理センター』という。)より利用申し込み書類を取り寄せ、必要事項を記入のうえ監督員の確認を受けてから提出すること。

II 事前に土質試料を採取してコーン指数試験(含水比を含む)等を行い、試験結果を管理センターへ提出すること。

III 運搬10日以上前に、管理センターと運搬経路、工程、ストックヤード利用上の注意事項等を打ち合わせる。

IV スtockヤード利用料金は、管理センターの請求により支払うこと。

V この他、ストックヤード利用の詳細については、管理センターと協議のこと。

問合せ：一般財団法人 茨城県建設技術管理センター

建設副産物リサイクル事業部

水戸市青柳町4195

TEL029-227-5634/FAX029-227-8558

3. リサイクル材の率先利用

使用する資材は、リサイクル建設資材の率先利用を図るため「茨城県リサイクル建設資材率先利用指針」を遵守し、認定資材の利用に努める。

なお、本工事では次の認定資材を特段の理由がない限り使用するものとする。

受注者は、設計で新材が指定されている場合においても、Aグループに区分された認定資材

に代替できる場合は、積極的に努め、代替する旨について、施工計画書提出時に文書で提出し監督員の承諾を得なければならない。また、受注者は、設計で認定資材が指定されている場合で、その調達が困難な場合は、他の認定資材または新材に変更するものとし、その旨を文書で監督員に提出し承諾を得なければならない。

(1)認定資材使用一覧

施工箇所	品目	規格	再生原料等の指定
表層工	再生加熱アスファルト混合物	再生密粒度アス(20)	指定しない
表層工	再生加熱アスファルト混合物	再生粗粒度アス(20)	指定しない
路盤工	再生路盤材(再生碎石)	RC-40	指定しない
路床入替工	再生路床用碎石(再生碎石)	RB-40	指定しない

第7章 施工計画

1. 工事計画

現場代理人は、工事請負契約後、施工計画書を提出し監督員と協議した後、工事に着手すること。

2. 検測

本工事の基準点及び水準点（B、M）は監督員の指示するものを検測して使用し、工事着手前に、平面図上の距離・現地盤高の確認を行うこと。また、工事施工上の納まりや、取り合いの関係で、材料・寸法・取付け位置・取付け工法等について止むを得ず行う軽微な変更及び測量誤差に起因する軽微な変更は、監督員と協議する。

3. 指定仮設

- (1) 本工事に関する仮設は設計図書に基づき施工するものとするが、現地の状況を十分把握し、安全性、経済性、細部構造等については、受注者において十分検討のうえ、設計図書により難しい場合は、監督員と協議するものとする。
- (2) 受注者においても本仮設工に対する施工技術検討を行い、その内容を施工計画書に記載し、提出するものとする。
- (3) 工事の施工については、受注者の責任において実施するものとする。

4. 任意仮設

- (1) 本工事に関する仮設にあたっては、現地の状況を十分把握し、安全性、経済性、細部構造等については、受注者において十分検討を行い、受注者の責任において決定し施工するものとする。
- (2) 上記の決定にあたっては、条件等に変更が生じた場合は、監督員と協議のうえ、決定・変更するものとする。

第8章 施工管理

1. 施工管理

「茨城県土木工事施工管理基準」に基づいて施工管理を行い、工事完了後速やかに施工管理報告書を提出すること。

2. 工程管理

施工計画書に基づき、適宜監督員と協議を行いながら適正な工程管理を行うものとする。

3. 安全管理

- (1) 工事中の安全管理については十分配慮するものとし、現場条件を考慮したものを具備するものとする。
- (2) 本工事で設置した仮設物については、定期的に見回りを実施するとともに、破損箇所を発見した場合またその恐れがある場合は、速やかに補修を行い安全の確保に努めること。

4. 工事記録写真

- (1) 「写真管理基準(案)」及び設計書に基づいて、各工種を測点毎に適切に撮影し、写真集に収めて、工事工程段階及び工事完了後提出する。
- (2) その他必要と認められたもの、監督員に指示されたものは撮影を行うこと。

第9章 その他

1. 現場管理

- (1) 工事完了後、工事のため混入又は飛散した石れき、木片・樹根・番線・ビニール紐・水系等の工事残材は速やかに除去しなければならない。
- (2) 運搬路に使用した既設道路の舗装等に破損又は汚れが生じた場合は、すみやかに監督員に協議し補修及び清掃をしなければならない。

2. 契約等について

- (1) やむを得ない理由により、増額変更が生じる場合は、事前に担当課と財政課との協議が必要となるため、発注者は、受注者に通知して、工事の全部又は一部の施工を一時中止させることができる。その際、受注者は工事の続行に備え工事現場を維持し若しくは労働者、建設機械器具等を保持するための費用その他の工事の施工の一時中止に伴う増加費用などを負担しなければならない。

第10章 疑義

本工事において、不明な点又は疑義が生じた場合には、監督員と協議うえ、その指示に従うこと。

平成30年度

29市単特環第4号管渠工事

数 量 計 算 書

(単独)

茨城県石岡市都市建設部下水道課

数量総括表

(単独)

工種	種別	細別	規格	単位	積算数量	設計数量		
マンホール工								
	組立マンホール工							
	組立2号マンホール			箇所	1	1		
		①組立2号マンホール材料						
		マンホール蓋	T-14 φ900親子蓋	組	1	1		
			T-25	組				
		転落防止はしご	φ600用	組	1	1		
		調整モルタル		m ³	0.019	0.0188		
			0.019×1875kg/m ³	Kg	35.63			
		調整リング	50mm φ900	個				
			100mm φ900	個				
			150mm φ900	個	1	1		
		斜壁ブロック	H=300 φ900×1200	個				
			H=450 φ900×1200	個	1	1		
			H=600 φ900×1200	個				
		直壁ブロック	H=300	個				
			H=600	個				
			H=900	個				
			H=1200	個	1	1		
			H=1500	個				
			H=1800	個				
		躯体ブロック	H=600	個				
			H=900	個				
			H=1200	個				
			H=1500	個				
			H=1800	個				
			H=2100	個	1	1		
		底版ブロック	H=130	個	1	1		
		削孔工	φ150mm	箇所	2	2		
		底部工	有り	箇所	1	1		
			無し	箇所				
			砕石基礎工	m ² /箇所	1.65	1.65		
			RC-40	m ³ /箇所	0.40	0.40		
		②組立2号マンホール設置工						
		ブロック据付工	3m以下	箇所				
			3m超4m以下	箇所				
			4m超5m以下	箇所	1	1		
		建込式簡易土留工	H=4.50m	m	3.00	3.00		
	既設1号MH	削孔工	φ150用	箇所	1	1		
	小型マンホール工							
		塩ビ製小口径マンホール		箇所	1	1		

数量総括表

(単独)

工種	種別	細別	規格	単位	積算数量	設計数量		
		①塩ビ製小口型マンホール材料						
		鉄蓋及び受枠	T-14	組	1	1		
			T-25	組				
		防護蓋	φ300	個	1	1		
		起点インバート	150mm×300mm	個				
		起点流入インバート	150mm×300mm	個	1	1		
		ストレート	150mm×300mm	個				
		15° 曲りインバート	左150mm×300mm	個				
			右150mm×300mm	個				
		30° 曲りインバート	左150mm×300mm	個				
			右150mm×300mm	個				
		45° 曲りインバート	左150mm×300mm	個				
			右150mm×300mm	個				
		90° 曲りインバート	左150mm×300mm	個				
			右150mm×300mm	個				
		硬質塩化ビニル管	プレーンエンド直管 φ300mm	本	1	1		
		内蓋及び沈下防止板		個	1	1		
		塩ビ人孔用受口プラグ	φ150用	個	1	1		
		②塩ビ製小口型マンホール設置工						
		ます設置工	平均深さ	m	1.66	1.66		
			2.0m以下	箇所	1	1		
			2.0m超～3.5m以下	箇所				
		取付管及びます設置工						
	土工	掘削	合計	m ³	12	11.56		
			機械掘削 山積Q=0.13m ³	m ³	9	8.95		
			人力掘削(桝)	m ³	3	2.61		
		埋戻(RB-40)	合計	m ³	8	8.33		
			山積Q=0.13m ³ (管上30cm以上)	m ³	6	5.89		
			埋戻工(桝)人力	m ³	2	2.44		
		管路埋戻(砂)	山積Q=0.13m ³ (管上30cmまで)	m ³	2	1.93		
		発生土処分工	合計	m ³	12	11.56		
			山積Q=0.13m ³	m ³	9	8.95		
			桝	m ³	3	2.61		
	ます設置工	①ます材料						
		小口径塩ビ製ます	3方向流入縦型 φ200-φ100	個				
			3方向流入横型 φ200-φ100	個	3	3		

数量総括表

(単独)

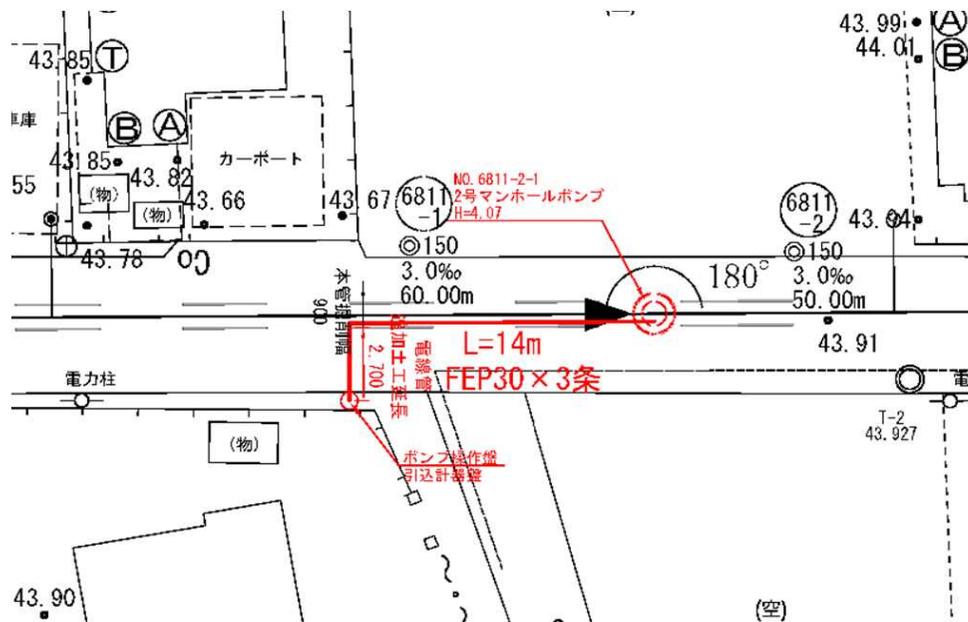
工種	種別	細別	規格	単位	積算数量	設計数量		
		プレーンエンド直管	VU φ 150	本				
			VU φ 200	本	3.41	3.41		
		汚水ます蓋	塩ビ製T-2	個	3	3		
			铸铁製防護蓋T-8	個				
		②ます設置工						
		ます設置工 (塩化ビニル製)	合計	箇所	3	3		
			1.0m以下	箇所	1	1		
			1.5m以下	箇所	1	1		
			1.5m以上	箇所	1	1	樹番号(5)	
	取付管布設工	①取付管材料						
		硬質塩化ビニル管	φ 100mm×4.00m	本	3	3		
		自在曲管	φ 100mm×0°	個	3	3		
			φ 100mm×30°	個	3	3		
			φ 100mm×60°	個				
			φ 100mm×75°	個				
		支管90°	VU φ 150mm-100mm	個	3	3		
		接着受口カラー	VU φ 100mm	個				
		②取付管布設工						
		取付管布設工	VU φ 100mm	m	12.6	12.6		
		取付管設置工	L≤3.0m	箇所				
			3.0m<L≤5.0m	箇所	3	3	平均4.20m	
			5.0m<L	箇所				
		支管取付工	VU φ 100mm	箇所	3	3		
							(電線管)	
電線管	電線管土工	床掘工(小規模)	機械掘削	山積Q=0.28m ³	m ³	3.0	2.76	
		埋戻し工(RB-40)		山積Q=0.28m ³	m ³	2.0	2.27	
		発生土処分工		山積Q=0.28m ³	m ³	3.0	2.76	
	電線管布設工	①電線管材料						
		波付硬質ポリエチレン管(FEP)	FEP30 3条	m	46	46		
		ポリエチレンクロス(ダブル)	幅150mm	m	14	14		
		①電線管布設工						
		人工(電工)		m	1.19	1.19		
付帯工								
		仮復旧 市道As (A)'						
		舗装撤去工					(本管)	(取付管) (電線管)
		舗装版切断	Co t=20cmまで	m	237	215.58	16.50	5.40

数量総括表

(単独)

工種	種別	細別	規格	単位	積算数量	設計数量		
		舗装版破砕	Co t=10cm以下	m ²	108	97.01	7.23	3.56
		殻運搬処理	Coガラ運搬	m ³	11	9.70	0.72	0.36
			Coガラ処理	t	25	22.80	1.69	0.85
		舗装版切断	As t=15cmまで	m	4	4.42		
		舗装版破砕	As t=10cm以下	m ²	2	1.99		
		殻運搬処理	Asガラ運搬	m ³	0.1	0.10		
			Asガラ処理	t	0.2	0.24		
	仮復旧工							
		路盤工	RC-40 t=22cm 2層	m ²	110	99.00	7.23	3.52
		表層工	再生粗粒度As t=3cm	m ²	110	99.00	7.23	3.56
	本復旧 市道As (A)' (全面)							
	舗装撤去工							
		舗装版破砕	Co t=10cm以下	m ²	454	453.55		
		殻運搬処理	Coガラ運搬	m ³	45	45.36		
			Coガラ処理	t	107	106.60		
		舗装版切断	As t=15cmまで	m	4	4.42		
		舗装版破砕	As t=10cm以下	m ²	111	111.12		
		殻運搬処理	Asガラ運搬	m ³	3	3.36		
			Asガラ処理	t	8	7.90		
	本復旧工							
		表層工(幅員1.4m以上)	再生密粒度As t=5cm	m ²	565	564.67		
		不陸整正	M-30 5cm	m ²	454	453.55		
			M-30 2cm	m ²	1	1.33		
	処分費	ストックヤード利用	残土					
				m ³	190	180.00	11.56	2.76
			Coガラ			仮復旧+本復旧		
				t	132	129.40	1.69	0.85
			Asガラ			仮復旧+本復旧		
				t	8	8.14		
	安全対策費							
			交通誘導員B	人	32			

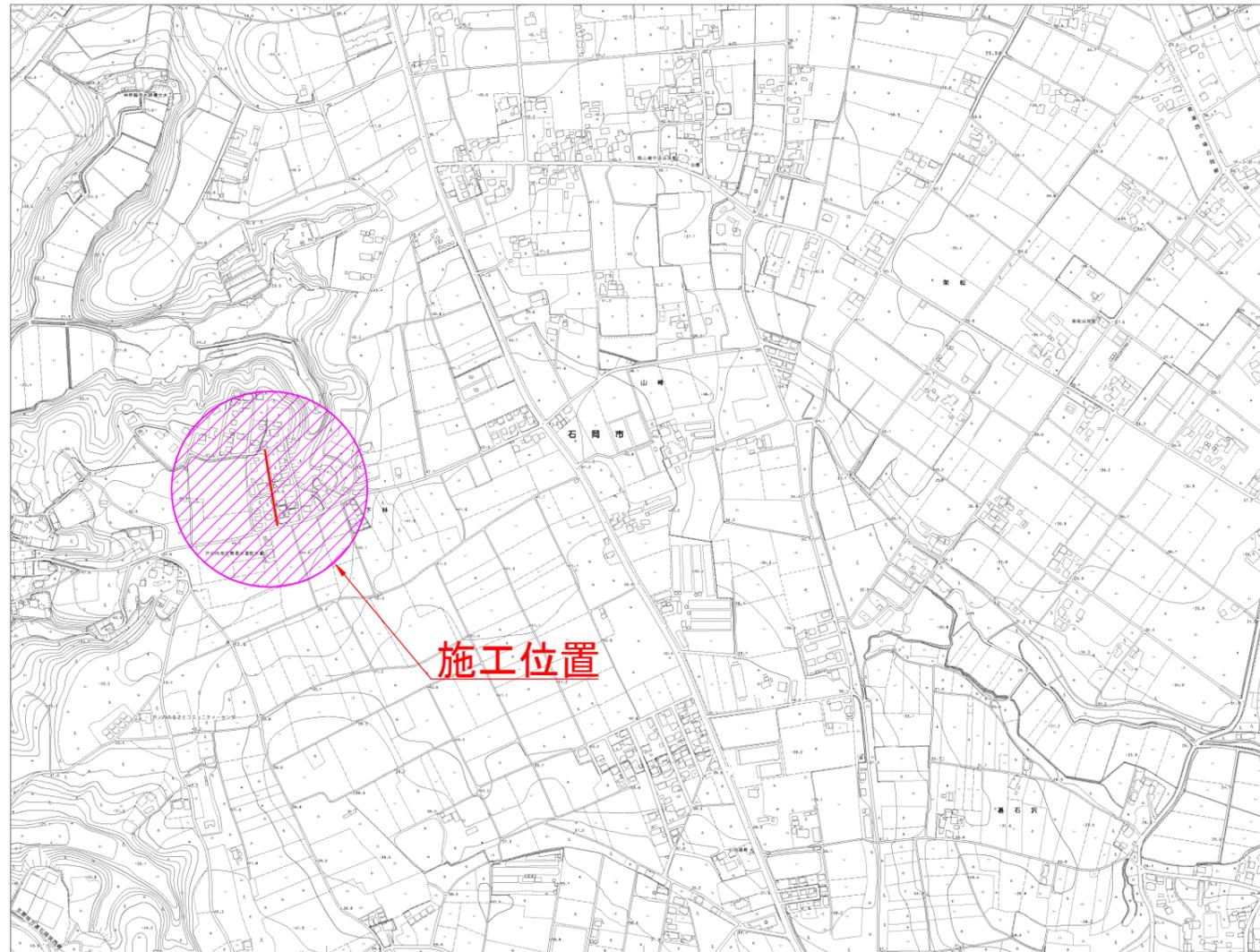
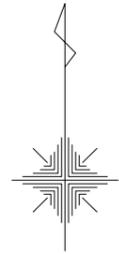
電線管土工追加範囲 数量表



No.	1	数量	1
名称	電線管部		
<p>勾配(1:0.3) 掘削距離=2.7m</p>	床掘	$[0.6 + \{0.6 + (1.2 - 0.1) * 0.3 * 2\}] / 2 * (1.2 - 0.1) * 2.7$ ※撤去表層工Co (t=10cm) は除く	2.76 (m ³)
	埋戻し	$[0.6 + \{0.6 + (1.2 - 0.25) * 0.3 * 2\}] / 2 * (1.2 - 0.25) * 2.7$ ※仮復旧舗装高 (t=25cm) は除く	2.27 (m ³)
	発生土		2.76 (m ³)
	舗装版切断	2.7*2 Co (t=10cm)	5.40 (m)
	舗装版破碎	(0.6+1.2*0.3*2)*2.7 Co (t=10cm)	3.56 (m ²)
	Coガラ処分工	3.56*0.1 Co (t=10cm)	0.36 (m ³)
	路盤工	{0.6+(1.2-0.03)*0.3*2}*2.7 RC-40 (t=22cm)	3.52 (m ²)
	仮復旧工	(0.6+1.2*0.3*2)*2.7 As (t=3cm)	3.56 (m ²)

位置図

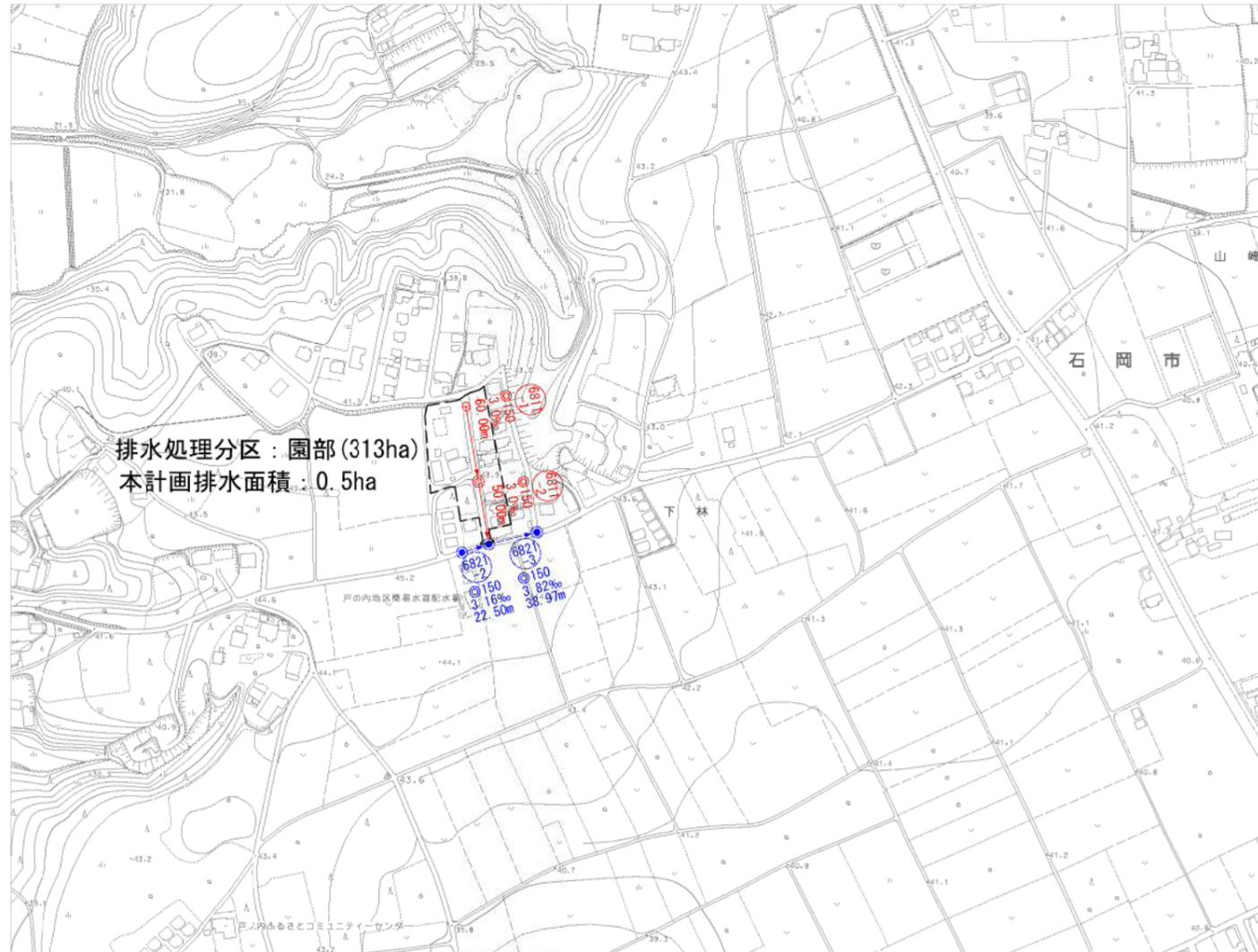
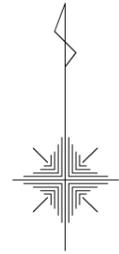
S=1:5000



図面別	位置図	図面番号	1/11
縮尺	1:5000		
工事名	29市単特環第4号管渠工事		
工事場所	石岡市下林地内		
工種			
製図年月日	平成30年1月		
石岡市都市建設部下水道課			

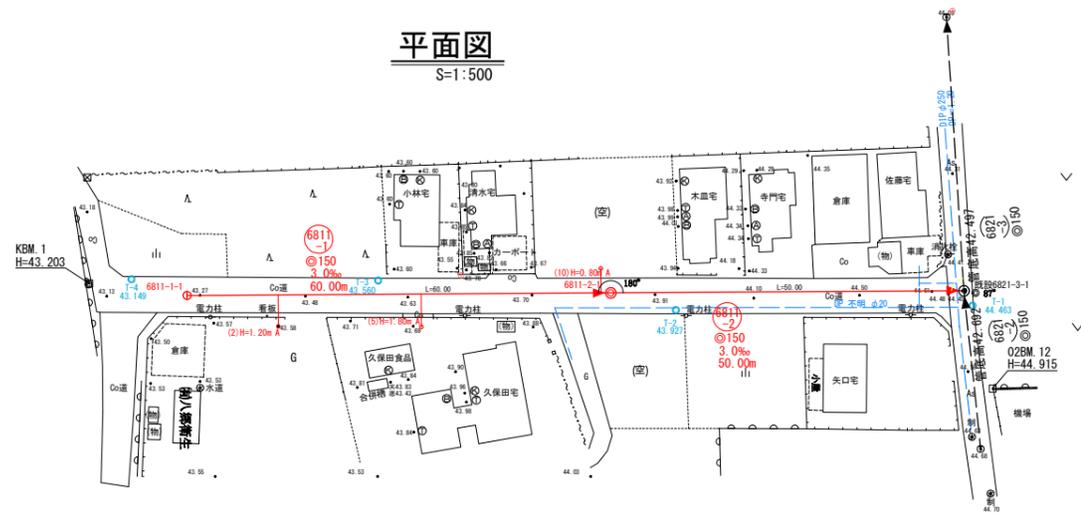
系統図

S=1:2500

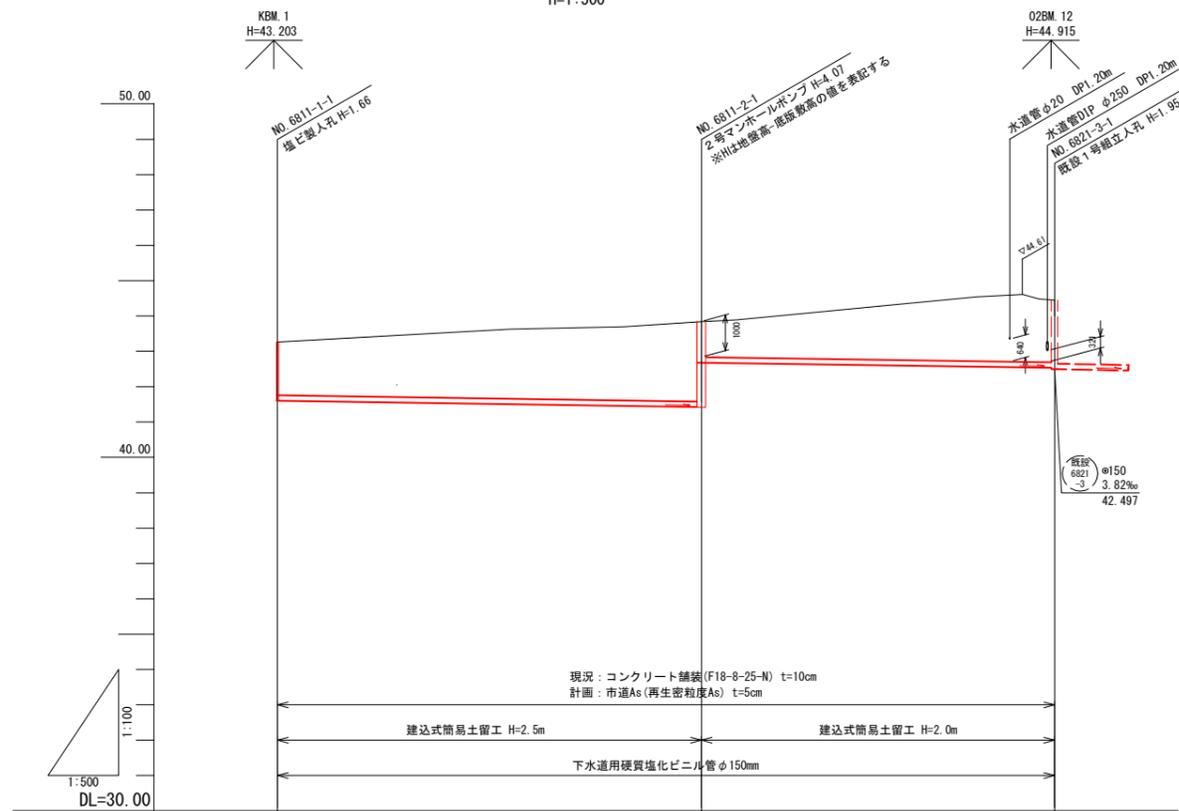


図面種別	系統図	図面番号	2 / 11
縮尺	1:2500		
工事名	29市単特環第4号管渠工事		
工事場所	石岡市下林 地内		
工種			
製図年月日	平成30年1月		
石岡市都市建設部下水道課			

平面図
S=1:500



縦断面図
V=1:100
H=1:500



平成14年度
国補特環基本設計業務委託
(地質調査業務)

ボーリング No. 38 H=42.15m

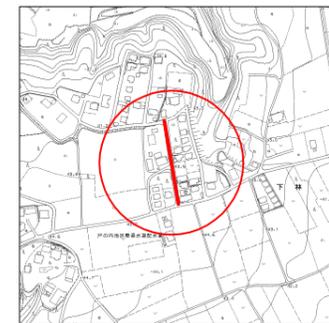
標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	土質	土質	N 値
			記号	区分	0 10 20 30 40 50
41.55	0.80	0.80	強土		
41.25	0.30	0.80	表土		
40.45	0.80	1.70	ローム		
39.45	1.00	2.70	粘土		
38.25	1.20	3.90	砂混じり粘土		
36.45	1.80	5.70	粘土		
36.20	0.25	5.95	砂混じり粘土		
31.70	4.50	10.45	粗砂		

凡例

記号	名称
	本管路線
	既設路線
	小口径マンホール
	1号組立マンホール
	2号組立マンホール
	標準宅地樹
	水道管

※ 標準宅地ますの表記の凡例は以下の通りである。
(樹設置番号) H=設計樹深 樹タイプ

案内図



路線番号

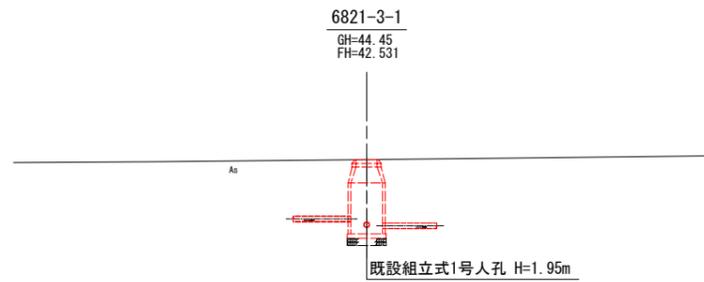
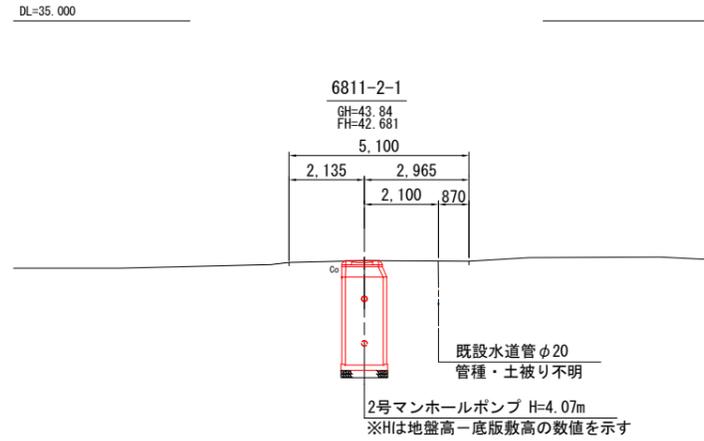
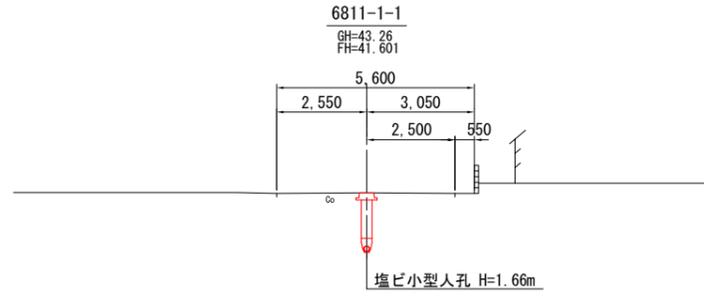
図面別	平面縦断面図	図面番号	3
縮尺	V=1:100 H=1:500		
工事名	29市単特環第4号管渠工事		
工事場所	石岡市下林 地内		
工種			
製図年月日	平成30年1月		
石岡市都市建設部下水道課			

※ 既設水道管φ20の土被りについては、接続先の既設水道管DIPφ250の土被りから想定したものである。
施工の際には試掘を行い、埋設状況を確認すること。

※ 縦断面図に示したボーリングデータに関しては、当該路線に最も近接したデータを採用した。

横断面図

S=1:100



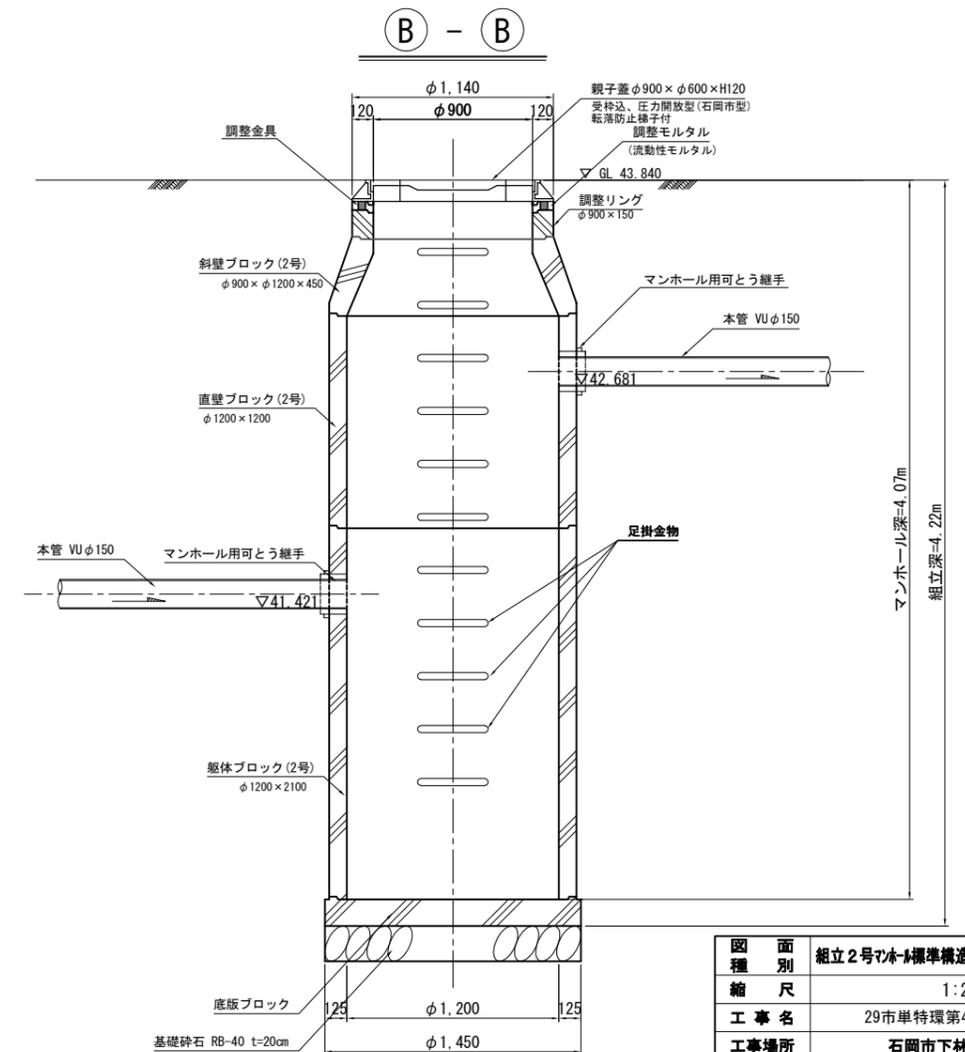
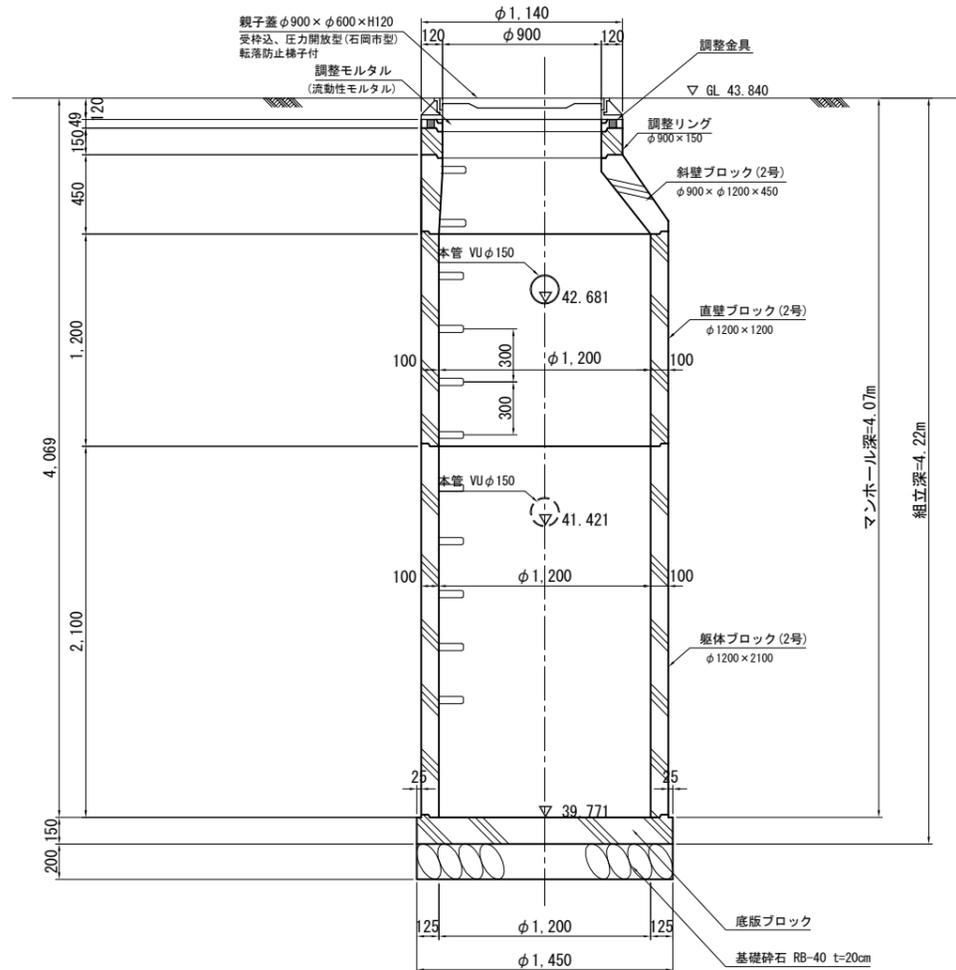
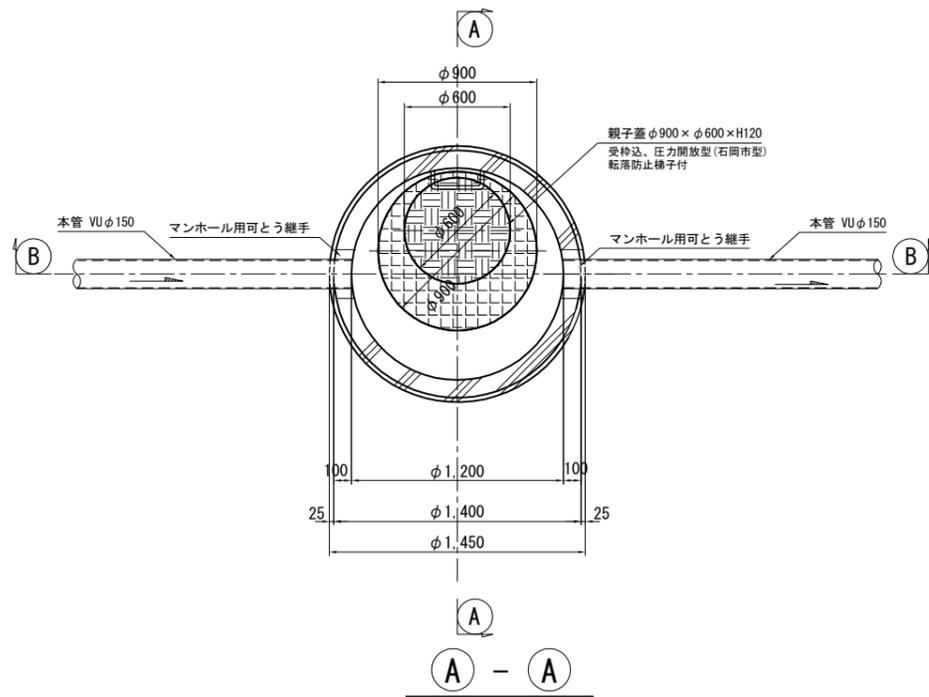
※図中に示したCo舗装は撤去・復旧後、市道As舗装に変更となる。

図面別	横断面図	図面番号	4/11
縮尺	1:100		
工事名	29市単特環第4号管渠工事		
工事場所	石岡市下林地内		
工種			
製図年月日	平成30年1月		
石岡市都市建設部下水道課			

組立2号マンホール標準構造図

S=1:20

平面図



鉄蓋(石岡市型)



※蓋の絵柄は上図のように八郷地区のものとする。

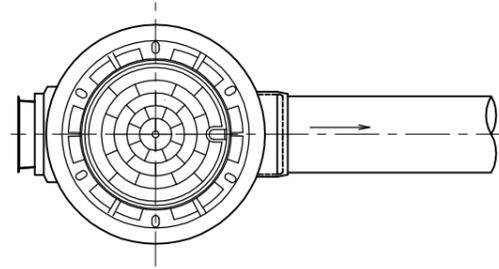
※人孔内部のマンホールポンプの機械設備については、「機械設備図」を参照。

図面種類	組立2号マンホール標準構造図	図面番号	5	11
縮尺	1:20			
工事名	29市単特環第4号管渠工事			
工事場所	石岡市下林 地内			
工種				
製図年月日	平成30年1月			
石岡市都市建設部下水道課				

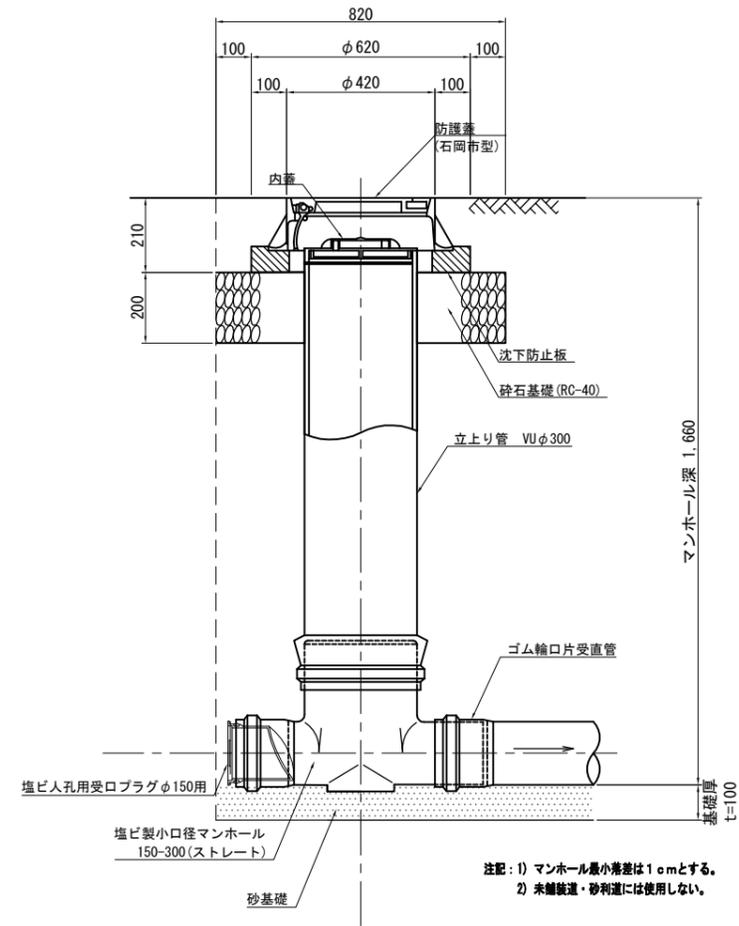
塩ビ製小型マンホール標準構造図

S=1:10

平面図



断面図



鉄蓋(石岡市型)

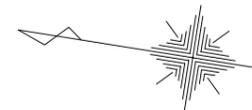


※蓋の絵柄は上図のように八郷地区のものとする。

図面別	塩ビ製小型マンホール標準構造図	図面番	6	11
縮尺	1:10			
工事名	29市単特環第4号管渠工事			
工事場所	石岡市下林 地内			
工種				
製図年月日	平成30年1月			
石岡市都市建設部下水道課				

污水柵設置検討図

S=1:250



凡例

記号	名称
	本管路線
	既設路線
	小口径マンホール
	1号組立マンホール
	2号組立マンホール
	標準宅地柵
	水道管
	宅内配管
	用地境界

※ 標準宅地柵の表記の凡例は以下の通りである。
 (H=設計柵深 柵タイプ)
 ※ 用地境界については、公園を重ねたものであり
 厳密なものではなく、あくまで目安とする。

図面別	污水柵設置検討図	図面番号	7 / 11
縮尺	1:250		
工事名	29市単特環第4号管渠工事		
工事場所	石岡市下林 地内		
工種			
製図年月日	平成30年1月		
石岡市都市建設部 下水道課			

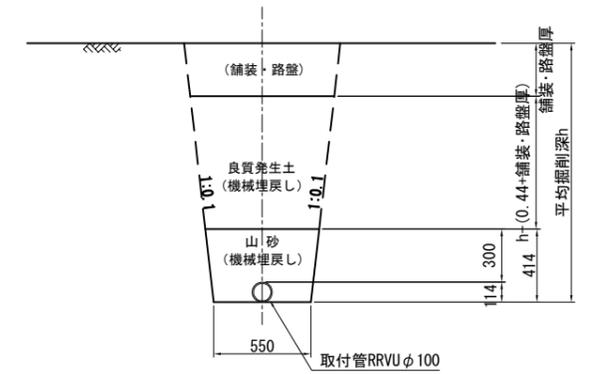
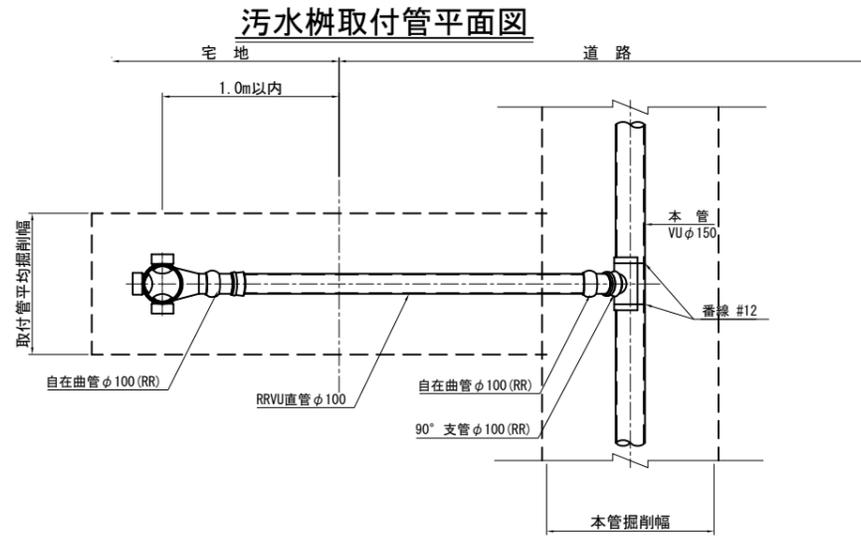
污水樹取付管標準図

S=1:20

取付管標準土工断面図

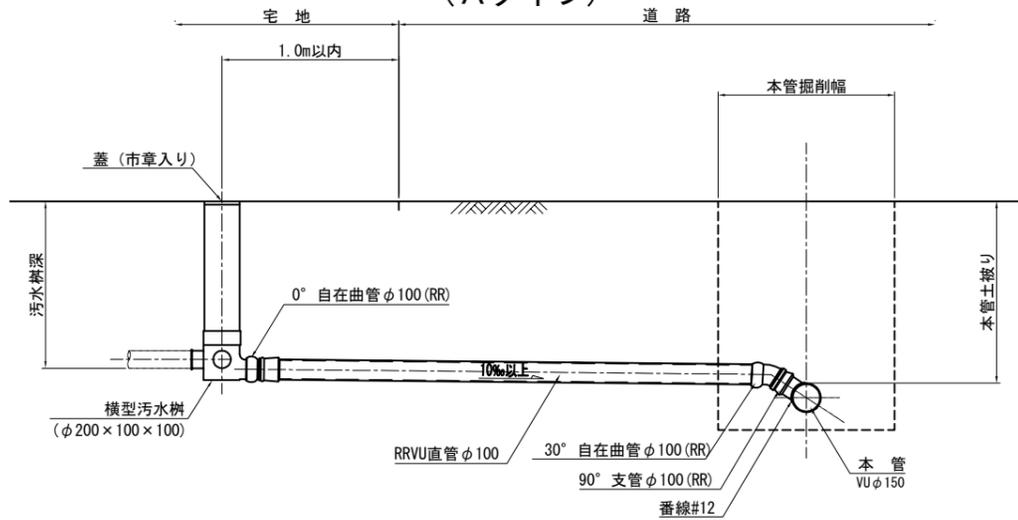
S=1:20

(掘削深 1.5m以下)

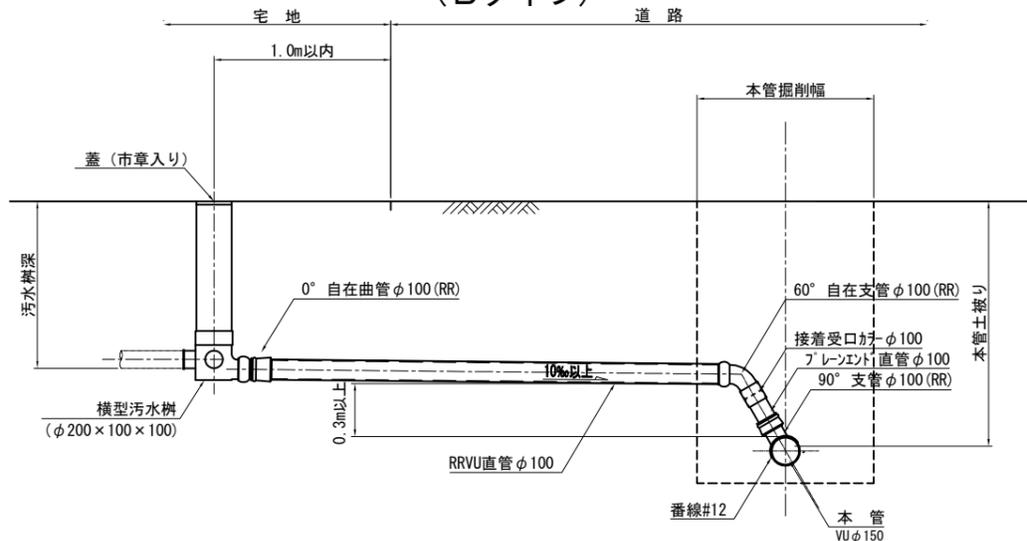


※掘削深が1.5mを超える場合は、土留め工を施す。

污水樹取付管標準図 (Aタイプ)

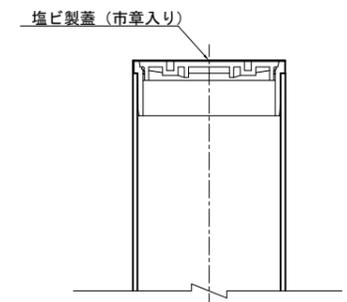
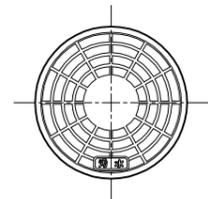


污水樹取付管標準図 (Bタイプ)



蓋 (塩ビ製T-2)

S=1:5

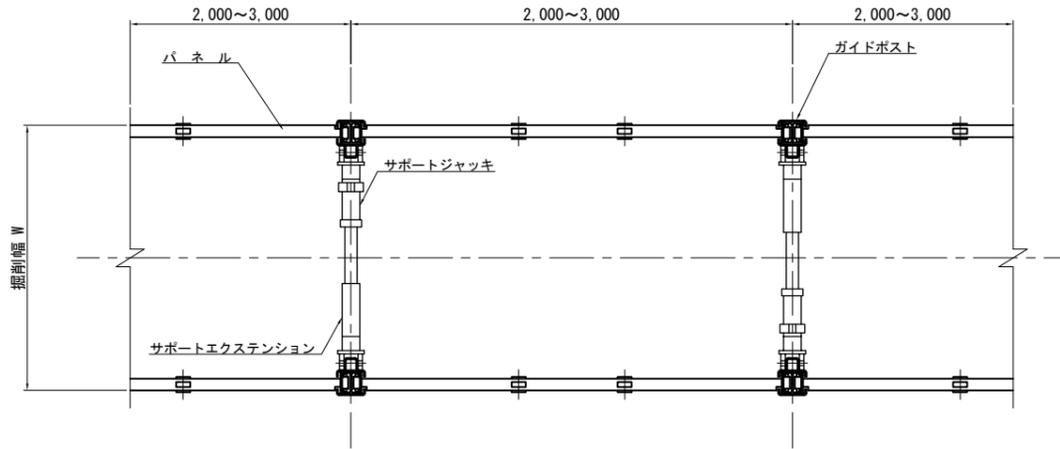


図面別	污水樹取付管標準図 取付管土工図	図面 番号	8 11
縮尺	1:20		
工事名	29市単特環第4号管渠工事		
工事場所	石岡市下林地内		
工種			
製図年月日	平成30年1月		
石岡市都市建設部下水道課			

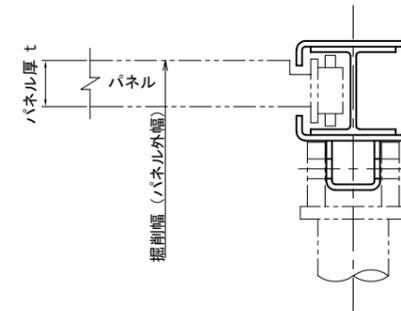
土留工標準図

(建込式簡易土留工) S=図示

平面図
S=1:20



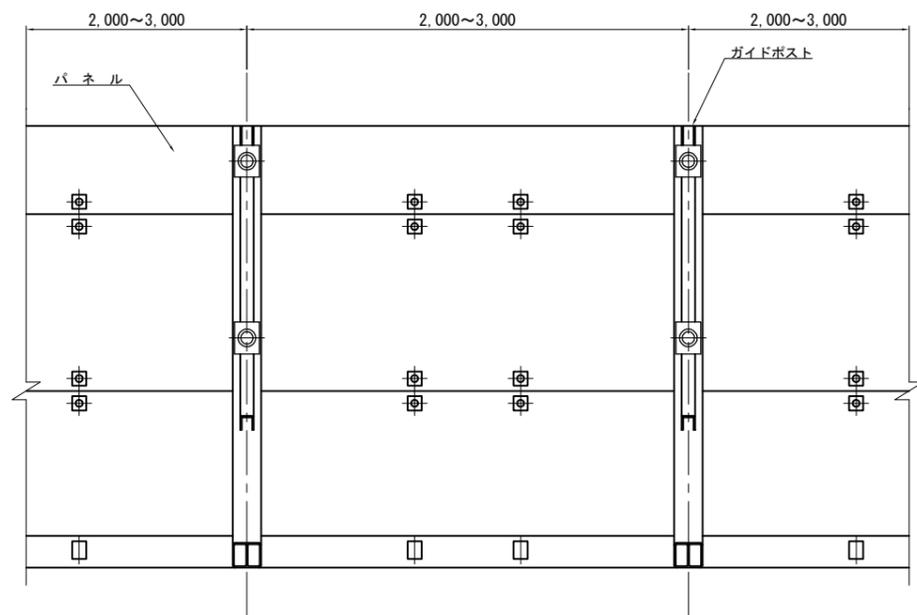
ガイドポスト詳細図
S=1:5



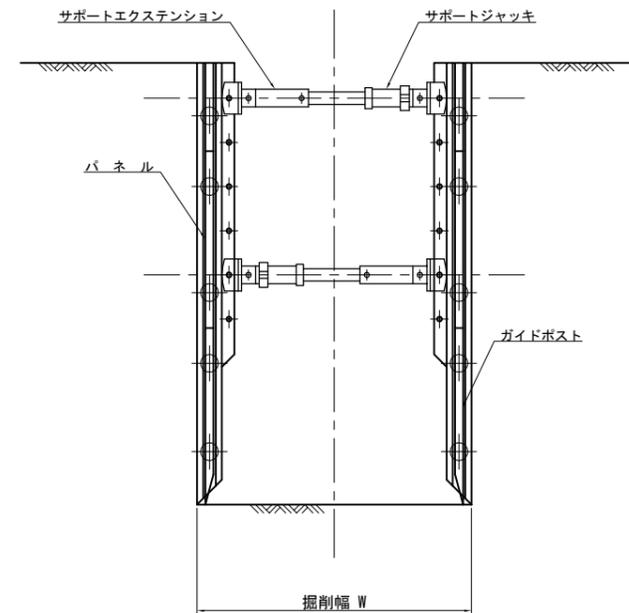
掘削深 H (m)	パネル厚 t (mm)
1.5m < H ≤ 3.5m	65
3.5m < H ≤ 5.0m	105

※ パネル厚はメーカーや機種により異なるため、参考値とする。

正面図
S=1:20



断面図
S=1:20



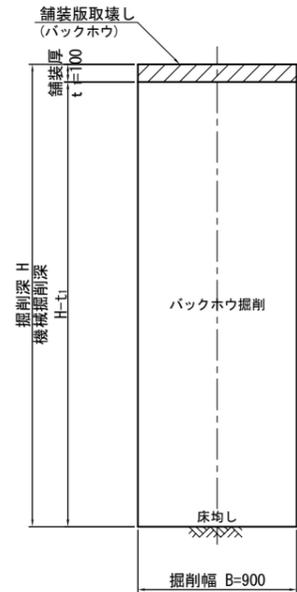
※ No.6811-2-1 2号マンホールポンプ設置時には土留高H=4.5mのものを適用すること。

図面種類	土留工標準図 (建込式簡易土留工)	図面番号	9 / 11
縮尺	図示		
工事名	29市単特管第4号管渠工事		
工事場所	石岡市下林 地内		
工種			
製図年月日	平成30年1月		
石岡市都市建設部下水道課			

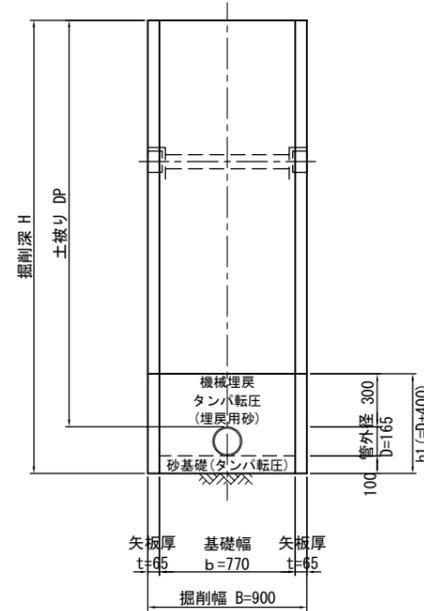
土工・管布設工標準図

S-図示

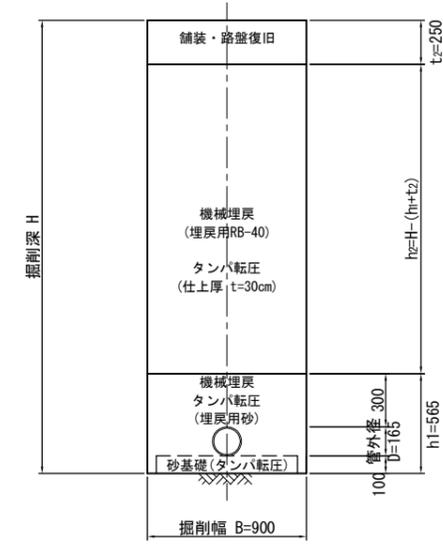
掘削工標準断面図
S=1:20



管布設工標準断面図
S=1:20



埋戻工標準断面図
S=1:20



建込簡易土留掘削幅(掘削深3.0m以下)
(道路幅員2.0m以上) (単位:mm)

項目	呼び径	φ150(VU)
掘削機械	バックホウ	0.20m ³ 級
管外径		165
余裕幅 (両側分)		300×2 =600
パネル厚 (両側分)		65×2 =130
計		895
修正値		900

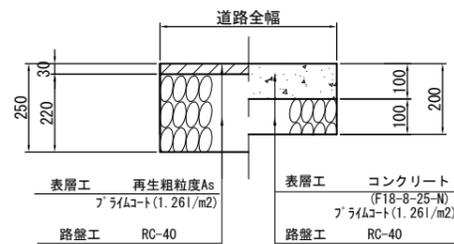
※1:掘削深 3.0mまで適用可
※2:バックホウ0.35m³級、またはバックホウ0.60m³級を使用の際は、別途算出する。

寸法表

管径	管外径 D (mm)	管断面積 (m ²)	h1 (mm)
φ150(VU)	165	0.021	565

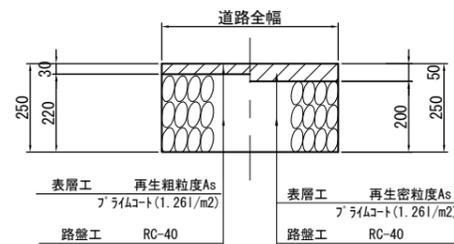
Co舗装
S=1:10

仮復旧 撤去



As舗装

仮復旧 本復旧



※ 本工事に伴い、当該道路全幅の舗装をCo舗装からAs舗装に打換えることとする

図種	面別	土工・管布設工 標準図	図番	10	11
縮尺	図示				
工事名	29市単特環第4号管渠工事				
工事場所	石岡市下林 地内				
工種					
製図年月日	平成30年1月				
石岡市都市建設部下水道課					

公 図 写

S=1:500

石 岡 市

下 林



転写場所 水戸地方務局 土浦支局
転写者 櫻井 浩二
転写年月日 平成29年9月19日

図 面 別	公図写	図 面 番 号	11
縮 尺	1:500		
工 事 名	29市単特環第4号管渠工事		
工 事 場 所	石岡市下林 地内		
工 種			
製 図 年 月 日	平成30年1月		
石岡市都市建設部 下水道課			